

第七十三回帝國議會 衆議院 不動產融資及損失補償法中改正法律案外四件委員會會議錄(速記)第三回

會議

昭和十三年三月三日(木曜日)午前十時四十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 青山 憲三君

理事高木条太郎君 理事喜多壯一郎君

理事田代 正治君 理事西川 貞一君

長野 綱良君 田中 邦治君

成島 勇君 大野 一造君

濱地 文平君 森 肇君

北 勝太郎君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 伯爵有馬 賴寧君

出席政府委員左ノ如シ

農林政務次官 高橋 守平君

農林參與官 助川啓四郎君

農林省水產局長 三宅發士郎君

農林省經濟更生部長 小平 權一君

農林書記官 石黑 武重君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

不動產融資及損失補償法中改正法律案

(政府提出)

產業組合中央金庫法中改正法律案(政府提出)
提出)

漁業法中改正法律案(政府提出)

產業組合中央金庫特別融通及損失補償法

中改正法律案(政府提出)

產業組合自治監査法案(政府提出)

○青山委員長 昨日ニ引續キ開會致シマ

ス——高木君

○高木委員 先ヅ私ハ產業組合關係ノコト

ニ付テ一寸簡單ニ御伺致シマスガ、昨日來

各委員ノ質問ノアツタ後デアリマスルノデ、私

ハ要點ノミニ付テ簡單ニ伺ヒマスガ、中央

金庫法ノ改正ニ依リマシテ漁業組合ニ融通

シ得ル所ノ總金額ハ何程位ノ御見込デアリ

マセウカ、又ドノ位ノ要求ガアルト云フ御

見込デアリマセウカ、其點ヲ御伺致シタイ

ト存ジマス、次ニ預金部資金及ビ特殊銀行

資金ニシテ、從來漁業組合ニ貸付ケタモノ

ノ償還狀況ハ他ノ方面ニ比ベテドウナッデ

居ルカ、良イカ惡イカト云フ其成績如何ヲ

御伺致シタイト存ジマス

○三宅政府委員 初ノ問題ニ付テ私カラ御

答申上ゲマス、政府出資ガ二百五十萬圓、

漁業組合系統ガ二百五十萬圓、合計五百萬

圓ニナルノデアリマスカラ、十倍ノ產業債

券ノ發行力アリト見マシテ、少クトモ五千

五百萬圓ガ融通出來ルモノト考ヘテ居ルノ

デアリマス、ソレデ御承知ノ通り政府出資

ハ五箇年デアリマスシ、漁業組合方面ハ合

計十一箇年デ拂込ムト云フコトニナッテ居

リマスノデ、來年度カラ直チニソレダケノ

融通ガ付クトハ或ハ參ラスカト思ヒマス、

水產資金ニドレダケノ必要ガアルカト云フ

コトニ付キマシテハ、是ハ豫算ヲ作リマス

時ハ、油其他ガ現在ノ如ク高クナカッタノ

デ、先ヅ差當リハ六千萬圓位ノモノガアレ

バ何トカ辻褄ガ合フダラウト云フ風ニ考ヘ

テ居ッタノデアリマスガ、今カラ考ヘマスト

諸物價ガ上ッテ居リマスノデ、是デハ中々苦

シイカトモ思ヒマスガ、豫算ヲ作リマス當時

ハ、サウ云フ考ヲ持ッテ居ッタノデアリマス

第二ノ問題モ便宜上私カラ御答致シマス、

漁業者ノ漁業組合ヨリ融通ヲ受ケタ者、農

業者ノ產業組合ヨリ融通ヲ受ケタモノトノ

間ニ於テ、特別ニ償還狀況ノ差異ヲ調査シ

タモノハナイヤウデアリマス

○高木委員 尙ホ伺ヒマスガ、產業組合ノ

從來ノ成績ト言ヒマセウカ、漁村ニ於ケル

產業組合ノ成績ハドウデアリマセウカ、私

ハ静岡縣デアリマスガ、產業組合ノ狀況ハ

海ニ面シテ居ル漁村ノ方ガ成績ガ非常ニ宜

イ、一時豐漁ノ時代ニハ預金モ多クテ、而

モ短期ノ預金ガ多イノデアルカラ、信用組

合トシテモ運用上非常ニ宜イ、又大抵引出ス

時ノ豫定モ付クノデアルカラ、非常ニ漁村

ノ預金ハ喜ンデ信用組合デモ受ケテ居ルヤ

ウニ私共聞イテ居リマスガ、私モ村ノ信用

組合ノ監事ヲシテ居ッテ、時々帳簿ナド見テ

居リマスケレドモ、相當成績ハ良イヤウデ

アリマスガ、全國ニ於テドシナ成績ニナッテ

居リマスカ、其點ヲ御分リニナッたら伺ヒ

タイト思ヒマス

○三宅政府委員 只今ノ御尋デゴザイマス

付託議案

不動產融資及損失補償法中改正法律案(政府提出)

產業組合中央金庫法中改正法律案(政府提出)

漁業法中改正法律案(政府提出)

產業組合中央金庫特別融通及損失補償法中改正法律案(政府提出)

產業組合自治監査法案(政府提出)

ガ、實ハ私共ノ方ノ調査ニモ相當沿海ニ於キマスル産業組合ノ色々ノ事情ハ分ッテ居ルノデゴザイマスガ、併ナガラ之ヲ農村産業組合ト比較致シマシテ、ドウ云フコトニナルカト云フコトニ付キマシテノ全般的ナハッキリシタ比較ハ付イテ居リマセヌノデゴザイマス、御承知ノヤウニ農村方面ニ於キマシテモ、或ハ都市ニ於キマシテモ、漁村ノ方面ノ産業組合ニ致シマシテモ、ドウシテモ良イモノ惡イモノ、色々ゴザイマシテ、實ノ所ソレニ付キマシテ數字的ニハッキリトドチラガドウダト云フコトハ分ッテ居リマセヌノデゴザイマス、大體ノ私共ノ感じト致シマシテハ、特ニ差異ノアルヤウニハ思ッテ居リマセヌノデゴザイマス、寧ろ例ヘバ關西或ハ本州中部地方ノ一般ノ産業組合ハ、東北方面ヨリモ成績ガ宜シイト云フヤウナ風ニ、地方的ノ漠タル比較ハ付クノデゴザイマスガ、沿海ト農村トノ比較ニ付テノ特別ナ差異ト云フモノハ、今ノ所認メテ居リマセヌ

○高木委員 此信用程度デアリマスガ、從來ノ漁村、或ハ漁村デナクテモ、農村デ漁業ヲ兼ネテ居ル所ノ漁業者ノ信用程度ガ少イノハ已ムヲ得ナイガ、實際ニ於テハ農家ハ土地其他ヲ持ッテ居ッテ擔保品ガアルノデ

信用程度モ向上スル、漁業者ニハ何モナイ、小サナ船ガアルダケノコトデアルカラ、數字的ニ言フト農家ニ於テハ千圓内外ノ所謂信用程度ヲ平均持テ居ル、私ノ地方ノコトヲ申上ゲルノデアリマスガ、漁業者ニハ漸ク二百圓位ノ信用程度シカナイノデ、其差ガ甚シイノデアアルケレドモ、其回收狀況カラ言ヘバ、漁業者ハ漁ノナイ時ハ生活資金ニモ困ルガ、漁ガアレバ回收成績ガ却テ宜イト云フコトヲ聞イテ居リマス、將來此漁業組合ガ金融行爲ヲ爲スニ於テハ、從來發達シテ居ル信用組合ヲドウスルカト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマスガ、ソレ等ニ付テモ漁業者ガ七割モハ割モアルヤウナ土地ニ於テハ、漁業組合ニ爲サシメルヤウニ自然ニ村ノ組合員ガサウナッテ行ッたら、サウ云フ御意見ガアルカナイカト云フコトヲ一寸聞イテ置キマス

○石黒政府委員 只今ノ御尋デゴザイマスガ、御話ノヤウニ大部分ノ組合員ガ漁業者デアリマシテ、而モ其組合員ノ間ニ之ヲ漁業協同組合ノ方ニ引直シタイト云フヤウナ希望ノアリマスル處デアリマスレバ、勿論ソレハサウ云フ風ニ引直シテ行クノガ宜カラウト考ヘテ居リマス

○高木委員 次ニ共同販賣ノコトニ付テ一

寸水産局長ニ伺ヒマスガ、漁業協同組合ガ經濟的行爲ヲ爲スト致シマスレバ、共同販賣ヲスルコトガ一番宜イ、共同購買ヲシテモ、或ハ信用貸付ヲシテモ、其回收ハ、漁獲物ノ十分ノ一ナリ或ハ二十分ノ一ナリ一時止メテ置カセルヤウニ致シテ、生活ヲ妨ゲナイ程度ニ於テ零碎ナル金ヲ回收スルヤウナ方法モアリマスルノデ、共同販賣ヲスルコトガ一番宜イノデアッデ、漁業組合ガ經濟行爲ヲ爲ストセバ、共同販賣ヲシナケレバ總テノ事業ガ發達シナイヤウニ私共考ヘテ居ルケレドモ、府縣ニハ市場ノ取締規則ガアリマスルノデ、一經濟區域ニ一市場ト云フヤウニ多クノ府縣ガナッテ居ルヤウニ思ッテ居リマス、是ガ爲ニ各府縣ニ於テ漁業組合ノ共同販賣ヲ容易ニ許サナイ、ソコデ之ヲ實施スルニ付テハ、モウ少シ漁業組合ノ共同販賣ガ出來得ルヤウニ本省ニ於テ方針ヲ立テ、戴キタイヤウニ私共思ッテ居ルガ、之ニ對シテ水産局デハ如何ニ考ヘテ居ラレマスカ、伺ヒタイ

○三宅政府委員 御尤ノ御尋デゴザイマシテ、是ハ申ス迄モナク漁業組合ノ組織ヲ漁業協同組合ノ組織ニ直シテ行キマスル所以ノモノモ、苟モ漁業者ノ團體デアリマスルモノハ自分ノ手ニ依ッテ共同販賣ヲ致サシ

メルト云フコトガ其主眼點ニナッテ居ルノデアリマス、唯御話ノ通り、府縣ニ依リマシテ、理解ノ少イ府縣ニ於キマシテハ、其點ガ旨ク行カヌ所モアルノデリマスルガ、又理解ノアル府縣ニ於キマシテハ、特ニ地方ノ取締規則ニ於キマシテ、市場ノ開設者ニ寧ろ漁業組合ヲシテ優先權ヲ與ヘシメルヤウナ規則ヲ作ッテ居ル向キモアルノデアリマスガ、最近ハ二三問題ヲ起シテ居ル所モアリマスルガ、能ク協調シマシテ、兎ニ角漁業者ノ團體ガ自分ノ漁獲物ヲ自分ノ手ニ依ッテ共同販賣ヲスルト云フコトハ、是ハ動カスベカラザル大原則デアリマシテ、其間ニ於テ從來ノ市場トノ協調ヲ保ツヤウナコトハアリ得ルカモ知レマセヌガ、是ハ一ツノ協調ノ點デアリマシテ、主義ト致シマシテハドウシテモ仰シヤッタヤウニ進ム積リデ居ルノデアリマス

○高木委員 只今局長ノ御話ヲ承ッテ満足スル者デアリマスルガ、全體漁業法ヲ明治三十四年ニ施行セラレタ當時、漁業組合ヲ組織致シタノデアリマスルガ、私ハ明治三十八年頃ト思ヒマスガ、其頃漁業組合長トシテ今日謂フ共同販賣ヲ實施シタ所、縣デ叱ラレタコトガアル、漁業組合ハ現在ノ法律デハ經濟行爲ガ出來ナイノデアアルカラ、サ

ウ云フコトヲシチヤイカヌ、斯ウ云フノダ
ガ、漁業組合ト云フ法人ガヤルノデナクシ
テ、漁業組合ガ自分ノ獲ツタ魚ヲ漁業者ノ
總意ニ依ッテ一箇處ヘ集メテ、ソレヲ俺ガ世
話シテ居ルノデアルカラ、何ガ惡イカト言ッ
テ、私ガ漁業組長ヲシテ居ル時代ニ無理ニ
押通シテヤッタコトガアリマス、所ガソレガ
數年ノ後明治四十一年カデアッタと思フ、水
産局ノ事務官ガ二名色々調ベニ來テ、漁業
組合ガ之ヲヤラナケレバイカスト云フノ
デ、能ク調ベテ行ッテ下スツデ、簡單デハ
アリマスケレドモ、其當時ノ漁業組合ノ範
例ヲ書イタ本ニソレモ書イテアル筈デアリ
マスガ、然ルニ拘ラズマダ十分ニ之ヲ行ヘ
ナイ、静岡縣ナドト致シマシテモサウデア
ル、其後明治四十三年ニ漁業組合ガ共同ノ
目的ノ爲ニ共同施設ヲスルコトハ許スヤウ
ニ漁業法ノ改正ニナリマシタケレドモ、此
度折角此漁業法ヲ改正シテ經濟行爲ヲ爲ス
以上ハ、市場取締規則モ改正シテ、漁業者
ノ共同販賣ヲ十分爲シ得ルヤウニ是非御助
力ヲ願ヒタイト云フコトヲ、只今ノ局長ノ
御話ニ甘ンジテ尙ホ御願シテ置ク次第デア
リマス、次ニ汚水ノコトニ付テ、本會デ
モ一寸伺ヒマシタガ、全ク漁業者ハ漁場ヲ
愛護スルコト云フ精神ハ持ッテ居リマス、決

シテ小サナ魚ヲ獲ルトカ、産卵期ニ獲ルト
カ云フコトハシナイヤウニ五ニ申合セテ、
漁業組合規約等ニ於テモソレヲ制定シテ、
愛護ノ精神ハナキニアラズ、十分ヤッテ居ル
ヤウニ私ハ思フ、昨日モ大分論議サレタガ、
ア、云フコトハ全ク宜イコトデ、何月何日
マデハ稚魚幼魚ヲ獲ラナイ爲ニ、餘リ細カ
イ目ノ網ヲ、例ヘバ棒受網等ヲ使ハナイト
云フヤウナ規約ハ私ナドノ縣ニモ各組合ニ
アルノデアリマシテ、斯ノ如ク漁業者ニ於
テハ、農家ガ耕地ヲ愛スルヤウナ考ヲ以テ、
十分肥料モ施シ耕作モシテ土地ヲ愛護スル
ヤウニ、海ヲ愛護スル精神ハアリ、悠久ノ
産業トシタイト云フ考ハ漁業者ニハアリマ
スルケレドモ、現在科學ノ進歩、工業ノ發
達等ニ依リマシテ、非常ニ惡水、汚水ガ流
出シテ稚魚幼魚ヲ寄せツケナイ、是ハ昨日モ
仰セラレタカラ私細カイコトハ言ヒマセヌ
ケレドモ、ソレガ爲ニ沿岸漁場ヲ荒スノデ
アリマス、此沿岸漁業ノ資源培養ト云フ根本
ハ汚水ノ問題ヲ解決スルコトガ最も急務デ
アルト思フノデアリマスガ、之ニ對スル當
局ノ御意見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、
ドウシテ此漁業法第三十四條ノ徹底スルヤ
ウニヤッテ下サルカ、折角漁業法第三十四條
ニハ書イテアリマスケレドモ、ソレガ徹底

シテ居ラナイノヲ遺憾ニ思フノデアリマス
ガ、ドウガ一ツ之ニ付テノ御意見ヲ伺ッテ
安心サシテ戴キタイト思ヒマス
○三宅政府委員 是ハ重大問題デゴザイマ
シテ、是モ私共十年前ニ水産局ニ居ル時分
ニ法律案マデ作ッテ居ッタ問題デヤハリ今以
テ片付イテ居ラスノデアリマス、是ハ外國ノ
歴史ヲ見マシテモ、水産局ナラ水産局、農
林省ナラ農林省ト云フ所ノミカラ出發シテ
居ル所ハ少イヤウデアリマス、此出發ノ仕
方ガ、ヤハリ若干考慮ヲ要シタノデハナカッ
タカト今デハ考ヘルノデアリマス、ヤハリ
鑛山ノ方面、或ハ保險ノ方面、主管省カラ
言ヒマスレバ、今カラ言ヘバ厚生省モアリ
マセウシ、商工省關係、是等ト一緒ニナッ
テ、此水質ノ汚毒ヲ防止スルコト云フ立法制
度ヲ立ツベキデハナカッタカト云フ風ニ私
共ハ過去ノコトヲ考ヘラレルノデアリマス、
今後ハ是等ノ各省協調致シマシテ、成ベク
早ク斯ウ云フ制度ヲ立テナケレバ、哀レナ
沿岸漁民ノ生業ヲ確立スルコトガ出來ナイ
ト云フコトニナルト思フノデアリマス、セ
メテモ、サウ云フ關係省ノ合同ノ調査會位
ノモノハ一ツ差當リハ作ラナケレバナラヌ
モノデアルト考ヘテ居ルノデアリマス、此
點ハ非常ナ大キナ問題デアルト水産當局ト

シテモ考ヘテ居ル次第デアリマス
○高木委員 漁業法第三十四條ノ五項ニ依
リマシテ地方長官ハ多少ノ取締ハ致シテ居
リマス、追ッテ其設備等ニ於テハ命令モ爲サ
ナイノデハナイノデアリマスケレドモ、營
利會社ト云フモノハ儲ケタイガ目的ダカラ、
晝ノ間ハ其通り石灰ナリ何ナリ入レテ防
行爲ヲ爲スノデアリマスケレドモ、夜間ニ
ナルト云フト其儘毒水ヲ流シ出スト云フヤ
ウナコトガ往々アルト云フコトヲ私ハ漁業
者ニヨク聞クノデアリマシテ、斯ウ云フコ
トモ餘程考ヘテ戴カナイト云フト、唯設備
ヲシタケデハ、豫算ヲ取ッテ、サウシテ
監督ヲ十分ニシテ戴カナケレバ、效果ハナ
イヤウニ思フ、此點ハ御注意マデニ申上ゲ
テ置キマス、尙ホ昨年漁船保險法ガ制定セ
ラレマシテ洵ニ漁船主トシテハ結構ナコト
デアリマスケレドモ、如何ニモ此漁船保險
料ガ高過ギルヤウニ思フ、私ノ縣ナドデモ、
永ク遭難救済法ヲ水産會デヤッテ居リマス
ガ、其統計カラ調ベマシテモ今ノハ餘リ高
過ギル、モット之ヲ廉クスル御意思ハナイカ
ドウカト云フコトヲ此際伺ヒタイ、ソレカ
ラ漁船保險ニ依ッテ船主ハ多少ノ安心モ出
來マセウ、又アレヲ金融上ノ擔保ト爲スコ
トモ船主ハ爲シ得マセウケレドモ、漁業從

事者、即ち漁業者其人ニ對シテノ遭難救済ナリ或ハ生命保険ナリト云フヤウナコトヲ一ツ考ヘテ戴キタイト思フガ、是ハ昨年モサウ云フコトヲ申上ゲタコトガアルガ、如何ニ考ヘテ居ラレルカ御伺致シマス

○三宅政府委員 漁業保険ノ料金デアリマスルガ、大體新造船ノ價格ノ七掛ヲ時價ト見マシテ、ソレノ又七掛ヲ保險金額トシテ居ルノデアリマス、大體新造船ノ半分位ナ値段ヲ保險金額ト見テ、其百圓ニ對シテ、物ニ依ッテ違ヒマスガ、二圓前後ト云フ風ニ

定メラレテアルノデアリマシテ、私モ物ニ依リマシテハ今少シ下ッテ宜イノデハナイカト云フ氣ガ致シテ居ルノデアリマスガ、何分今年ハ店開キ早々デアリマスノデ、ソレ等ノ點ニ付テモマダ考究ヲ要スル點ガアラウト思ヒマスガ、氣持ハ今御話ノ通り考ヘテ居ル次第デアリマス、何レソレ等ノ調査ヲ終ヘマシタナラバ漁船ノ保險ハ政府ガ再保險ヲシテ居ル性質上出來ルダケ低下サセル必要ガアラウト考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ人ニ對スル救済、即ち遭難ノ救済ト云フヤウナコトニ付キマシテモ、是モ此漁船保險法ガ昨年議會ニ掛リマシタ時ニ、衆議院ニ於キマシテモ貴族院ニ於キマシテモ問題ニナツタ點デアリマス、此方ヲ

先ニ致シマスルカ、或ハ遭難防止ノ方ノ施設ヲ先ニ致スベキカト云フコトハ、私ハ考ヘル餘地ノアル問題ガアラウト思フノデアリマス、兩方一度ニ出來レバ仕合セデアリマスガ、何レヲ先ニ致スベキカト云フコトニナリマスレバ、ドチラヲ先ニ致スカト云フコトヲ考ヘテ見ル必要ガアラウト思ヒマス、尤モドチラモ必要デアリマス、兎ニ角此點モ何トカ致サナケレバナラヌト云フ考ヲ持ッテ居ル次第デアリマス

○高木委員 漁業ニ從事スル者ノ扶助ニ關スルコトニ付キマシテハ、漁業法第四十條ニ勅令ヲ以テ定メルト云フコトニナッテ居リマスルガ、ソレハ漁業法施行後數十年ヲ經テ居ルケレドモ今以テ實施セラレテ居ラナイ、勅令モ出テ居ラナイノデアリマスガ、之ニハ色々御考モ、又御都合モアルカモ知レマセヌガ、是ハ少クモ各府縣ニ於テデモ、或ハ中央ニ於テデモ、漁業者ノ遭難ノ扶助、相互救済法ト云フヤウナコトヲヤッテ居ル水産會ナリ漁業組合ナリニ先ツ急ノコトトシテ補助デモ與ヘテ、ソレヲ指導シテ行クヤウナコトモ一ツノ便法デハナイカト考ヘテ居ルガ、サウ云フ御考ハナイノデアリマセウカ、此點ヲ一寸伺ッテ置キタイト思ヒマス

○三宅政府委員 實ハ只今高木サンノ仰シヤツヤウナ豫算ヲ局ト致シマシテハ組ミマシタ、併シソレヨリモ色々急ヲ要スルト云フモノガアル關係ト、財政ノ關係其他カラ實ハ提案スルコトガ出來ナカッタノデアリマスルガ、色々細カシイ規則ヨリモ、少クトモ手取早ク良イ施設、即チ今高木サンノ仰シヤツヤウナコトモ實ハ考ヘテ居ル次第デアリマス

○高木委員 私ノ縣デハ縣費ノ多少ノ補助モ得テ、船主モ負擔シテ居リマスガ、船員モ多少負擔シテ、サウシテ此業ヲ圓滿ニ何等ノ危險モナク十數年ヤッテ居リマス、都合ニ依ルト云フト、大キナ船ガ二艘モ遭難シタ場合、一年ニ二萬圓以上モ出シタコトガアリマスケレドモ、此事業ハ圓滿ニ實行シテ漁業者モ此負擔金ハ喜ンデ出スヤウナコトニナッテ居ルノデアリマス、併シ政府ニ於テハサツパリ是ガ指導モ補助モシテ下サラナイノヲ私ハ非常ニ遺憾ニ思フ、此點ハ是非局長サンノ御考ヲ俟ツ點デアルガ、御研究ヲ願ヒタイト思ヒマスカラ希望シテ置キマス

次ニ漁網用ノ綿絲或ハ船具用ノ麻、或ハ染料等ノコトデアリマスガ、是モヤハリ國ノ統制ヲ受ケマシテ、一割、二割ヲ減ゼラレルヤウナコトニ聞イデ居リマス、抑々木綿

ノ著物ナラ、例ヘバ混織ヲスルトカ、此場合一年二年古イノデ織合セテ我慢スルト云フコトハ出來マスケレドモ、漁網ト云フヤウナモノハ節約ハ殆ド出來ナイ、網ニ穴ガ明ケバ魚ハ逃ゲテシマフノデアリマスカラ、サウ云フ古イ物ヲ使フト云フ譯ニハ行カナイノデアアルカラ、此漁網ニ限ッテハサウ云フ統制ヨリ除外シテ戴イテ配給ヲ願ヒタイト思フ、尙ホ又殊ニ染料デアリマスガ、染料ガ不足スレバ網ガ腐敗シ易イノデアリマシテ、漁網ノ統制ヲスレバスル程寧ロ染料ハ豊富ニシテ行カナケレバナラナイノデアリマス、漁業者ノ使フ所ノ染料及ビ漁網ニ使フ所ノ綿絲ノ配給ニ付テハ、只今申上ゲタヤウナ希望ヲ持ッテ居ル者デアリマスガ、農林省トシテハ之ニ對シテ如何ニ御盡力下スツカ、其點ヲ伺ヒタイトデアリマス、又將來如何ナル御方針デアアルノデアリマセウカ

○三宅政府委員 洵ニ御尤ナ御意見デゴザイマシテ、私共ト致シマシテハ漁業用物資ト致シマシテ、燃油即チ石油ノコトデアリマスガ、ソレノコトハ一般ニ論ゼラレマサガ、漁網ナリ、ソレヲ染メマス所ノ染料ニ付テハ業界ニ於キマシテモ、餘リ叫バレテ居ラヌノハ洵ニ遺憾トシテ居ッタ次第デアリ

マス、御説ノ通り漁網ナクシテ四億ノ漁獲ト云フモノハ絶對ニ擧ガラナイノデアリマス、而モ漁網ハ四五百万圓ハ年々輸出シテ居ルヤウナ次第デアリマス、今回大體ニ於キマシテ「ステープル・ファイバー」ヲ混用シナケレバナラスト云フヤウニ綿絲ハナッタノデアリマスガ、漁網ノ方ハ特ニ考慮ヲ致サレマシテ、是ハ農林省ト商工省ト能ク協調ヲ保チマシテ、現在ニ於キマシテハ無論純綿デナケレババイカスノデアリマスカラ、ソレノ月々ノ割當ハ若干ノ節約ハシナケレバナラスヤウニナツテ居リマスガ、手持品モアルヤニ考ヘラレマスノデ、大シタ不足ハナイ所マデ兩省協調ノ下ニ行ツテ居ル次第デアリマスガ、漁業ノ趨勢カラ見マスレバ何時モ自然増ガ之ニ伴ツテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ其儘ニシテ置キマスレバヤハリ不足ノ時ガ起ツテ來ルノデアリマスカラ、是ハ商工省ト從來通り、寧ロソレ以上ニ協調ヲ保ツテ不足ナカラシムルヤウ、而モ漁網ノ方面ニ付キマシテノ別ノ聯合會ガ今回設立セラレマシタ、即チ日本網綱工業組合聯合會ガ出來マシテソレガ割當ヲ受ケルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、價格ノ點モソレ等ニ牽聯致シマシテ、從來純綿ノ方ニハ最高ノ標準値段ガアツタノデアリ

マスガ、混紡トカ撚絲ノ方ニハ是ガナカッタノデアリマス、今回其ナカッタ方ノモノニ標準價格ヲ作ラレタガ爲ニ、純綿ノ方ノ價格モ却テ維持セラレルト云フコトニナリマシ、若干量ノ供給モ殖エルト云フコトニナッタノデアリマス、商工省ニ於キマシテモ紡績會社ガ純綿ノ操業ヲ忌避スルコトノナイヤウニ十分注意シテ居ルヤウナ譯デアリマシテ、先ヅ差當リハ、相當ノ努力ヲ致シテ來タ積リデアリマスガ、先程申シマシタヤウナ關係ガアリマスノデ、尙ホ〳〵兩省能ク協調シテ、不足ヲ來サナイヤウニシナケレバナラス大切ナ問題デアルト考ヘテ居ル次第デアリマス、次ニ染料ハ大體百五十萬圓程度ノ輸入ヲ見テ居リマス、是ハ輸入ガナケレバ絶對出來ナイノデアリマス、是モ輸入制限ノ爲ニ相當ノ制限ヲ受ケテ居ルノデアリマシテ、隨分方々カラ輸入ヲ容易ニスルヤウニト云フ陳情モ來テ居リマシテ、此點ハ能ク大藏省ニモ申シテ居リマス、是ハ漁業組合ノ聯合會邊リガ其管下ニ於ケル需要染料ノ量ヲ決メマシテ、ヤハリ獎勵ヲシナケレバイケマセヌカラ、ソシナ風ニシテ染料ノ不足ヲ來サナイヤウニ、染料ガナケレバ幾ラ漁網ガアリマシテモ一月位デ腐ツテシマウノデアリマスカラ是ハ大變

ナ問題デアリマス、御意見ヲ承リマシテ私共一層此點ニ注意ヲ深クシナケレバナラスト云フ責任ヲ感じテ居リマス、又一面ニ於キマシテ染料ノ節約ヲスルヤウニ、無駄ヲ排除スルヤウニ、或ハ漁網ノ手入ヲ今迄ヨリモ十分ニスルヤウニト云フコトナドモ、團體ニ對シテ、是ガ宣傳ニ努メテ居ルヤウナ次第デアリマス、尙ホ三月ノ十日、十一日府縣ノ主任官ヲ集メマシテ、色々議題トスル問題ノ中ニモ、此石油、他漁網、染料ト云フコトモ議題ニ供スルヤウニナツテ居ル次第デアリマス、精々此點ヲ努メル積リデアリマス

○高木委員 最後ニ私ハ一言希望ヲ申上ゲタイト思ヒマスガ、ソレハ先般請願ノ紹介ヲシタ時ニ局長サンカラ水産省設置ト云フヤウナコトハ私カラ答フベキ限リデナイト云フコトデ刎ネ付ケラレテシマヒマシタカラ、只今ハ敢テ御伺ハ致シマセヌ、希望トシテ申上ゲルニ止メマスガ、想起シマスレバ是ハ十年前ノコトデアリマスガ、此問題ニ付テ水産局ハ御願ニ參リマシタラ、サウ君等ハ勝手ナコトヲ言ツテモ、此處ハ農林省デ、水産局ト云フホンノ宿借ヲシテ居ルノデアルカラ水産省ヲ獨立デモシナケレバ、サウ色々ナコトヲ言ツテ來テモ省議デ中々採ツテ呉レナイ、僕一人デ何ト言ツテモ駄目ダト云フヤウナコトヲ十年前ノ局長サンカラ言ハレタコトガアリマスガ、斯ウ云フコトヲ考ヘマス時ニ於テ農林ト林トハ殆ド接近シテ居ッテ、農家ハ即チ林業ヲ兼ネテ居ル、海國日本トシテ水産ノ仕事ヲ何處デヤツテ居ルカ分ラスト云フヤウナコトデハ洵ニ困ルト思ヒマス、ソコデ是ハ農林水産省トスルカ、或ハ農水省ト云フヤウナコトニシテ戴キタイト云フコトヲ希望トシテ御願シテ置キマス、尙ホ御願シテ置キタイコトハ、府縣ノ水産課長ト云フモノヲ多クハ商工課長ガ兼ねテ居ル、御承知ノ通り商工ト水産トハ中央ニ於テモ時ニ摩擦スル問題ナキニシモアラズデアリマス、府縣ニ於テハ殊ニ然リデアリマス、之ヲ兼ネテ居ラレルトドウモ、旨ク行カナイ、ドウシテモ商工省ノ方ガ資本家ノヤツデ居ル仕事ガ大キイカラ其方ニ轉ビ易イ人多イノデアル、ソレデ弱イ漁業者ト云フモノハ何時モ頭ヲ下ゲテ居ルト云フ形ガ地方ニハアルノデアリマス、ソコデ海ニ面シテ居ル所ノ府縣ニ於テハ必ズ水産課ヲ將來ハ置クヤウニシタイト私ハ思フト同時ニ、水産課ヲ置イタナラバ專任水産課長ヲ置クヤウニシタイ、サウシテ其水産課長ハ必ズシモ法律屋サンデナクテモ、水

産技術者デモ結構デアリマス、却テ術技者ノ方ガ宜イカモ知レマセヌ、若シ兼任ナラバ已ムヲ得ナイカラ水産試験場長ヲシテ兼任セシムルノモ宜イト思ヒマスノデ、サウ云フヤウニ御指導ヲ願ヒタイ、是ダケ御願シテ私ノ質問ヲ打切りマス

○青山委員長 他ニ御質問ハアリマセヌカ

○田代委員 私ハ専用漁業權ト云フコトニ付テ一寸伺ヒタイと思ヒマス、今日ドノ沿岸漁村デモ總テ漁業組合ガアリマシテ、サウシテ之ニ専用漁業權ト云フモノガ財産トシテアルノデアリマス、然ルニ北千島ノ方ハマダ未開拓地デアリマスモノデスカラ移住民ガナイノ漁村ガナク隨テ又漁業組合ガナク、専用漁業權ノ設定ガナイト云フ状態ナノデアリマス、併ナガラ御承知ノ通り北千島ノ沿岸ハ猫足昆布トカ或ハ布海苔トカ、其他地先水産物ガ非常ニ豊富ナノデアリマス、猫足昆布ノ如キハ浪ニ曝サレテ、浪ニ打上ゲラレタモノダケデモ、非常ニ値打ノアツテ沃度ノ原料ニナルモノトカ、或ハ鹽化加里ノ原料ニスルコトガ出來ルト云フ状態ニナツテ居ルノデアリマス、之ヲ放置致シマス、段々ハ又外ノ方ノ今マデノ水産業ノ如ク、資本家が段々手ヲ伸バシマシテ之ヲ利用スル、ソレモ開發スルノデア

リマスカラ、宜イコトニ違ヒアリムセヌケレドモ、私等ノ考デハ一日モ早く彼處ニ漁村ヲ起サレマシテ、サウシテ此漁業組合ヲ作リマシテ之ニ對シテ専用漁業權ヲ與ヘル、サウシテ地先水産物ノ保護ヲシテ、永遠ノ財産ニスルト云フ考ヲ、今カラ持ツタ方ガ宜イト思フノデアリマス、農林省ニ於カセラレマシテハ、北千島ニ漁業組合ヲ作ル、サウシテ専用漁業權ヲ設定致シマシテ、地先ノ水産物ノ利益ヲ永遠ニ保護スル御考ガ今オアリニナルカドウカ、此點ヲ一寸御同致シマス

○三宅政府委員 北千島ノ開發ニ付キマシテハ、農林省ト致シマシテモ随分盡力シテ參ツタノデアリマス、唯今田代サンカラ御話ノヤウナコトハ、私ハ初メテ實ハ承ツタノデ、其點甚ダ迂濶千萬デアリマス、今マデノ漁業ノ統制ト云フコトカラ、保護ト云フコトニ進ンデ參リマシタ農林省ト致シマシテハ、能ク北海道廳ト協議致シマシテ、成ベク御説ノ點ヲ障礙ナク實現シ得ラレルヤウナ方法ニ付キマシテ、考究致シタイ考ヘテ居リマス

○田代委員 ソレカラ又はハ直接此法律案ニ關係シテ居リマセヌケレドモ、好イ機會デアリマスカラ一寸御同致シマスガ、同じク北洋漁業ノ開發ノコトデゴザイマス、先年農林省カラ中村技師ガオ出デニナリマシテ、モット北洋漁業ニ付テ外ノ水産物ヲ開發シテ、サウシテ之ヲ輸出物トシテ外國カラ金ヲ取ルト云フヤウナ方法ヲ御考ニナツタコトガアルノデアリマス、慥カ二千万圓位ノ增收ヲ圖ルコトガ出來ルガラウト云フヤウナ御考ノ下ニ、御調査ニナツタガラウト思ツテ居ルノデアリマス、御承知ノ如ク、今ハ北洋漁業ノ方カラハ鮭鱒罐詰ト云フ貴重ナル輸出物ガアルノデアリマスガ、歐羅巴ハ御承知ノ通り丁度我が北洋ト緯度ヲ同じクスル爲ニ、其嗜好品ハ主トシテ我が北洋漁業ノ水産物ト同じ嗜好デアアルノデアリマス、南洋カラ獲レマス所ノ水産物デ、只今輸出物トシテ成功シテ居ルノハ鮐ノ罐詰位デアリマシテ、鯉ハ失敗ニ終ツタト云フノデアリマス、是ハ詰リ歐羅巴ノ緯度ガ北洋ノ緯度ト同じ爲ニ、熱イ地方ノ水産物ガ嗜好ニ適シナイト云フコトガ原因シテ居ラウト思フノデアリマス、ソレデ又一面、輸物、輸出罐詰トシテハ、水産罐詰ハドウシテモ原料ノ安イモノデナケレバイケナイ、是ガ大事ナコトデアリマス、然ルニ我が北洋漁業ノ水産物ハ御承知ノ通り實ニ豊富大量ニ生産サレルノデアリマシテ、一ツトシ

テ高イモノハナイノデアリマス、私ノ考デハ此中最モ著目スベキモノハ鱈ダト思フノデアリマスガ、此鱈漁業ニ付テ現在ヤッテ居リマスノハ鱈釣り、鱈延縄ト云フヤウナモノデアリマシテ、之ヲ大量ニ獲ルコトハマダヤッテ居ラナイノデアリマス、私ノ考デハ寧ロ此際積極的ニ此「カムチャッカ」ノ沖合漁業ニ付テ、彼處デ鱈ノ機船底曳網モ獎勵致シ、鱈ヲ大量ニ獲リマシテ、之ヲ水煮其他罐詰ニ造リマシテ輸出シタナラバ、非常ニ面白カラウト思フノデアリマス、然ルニ現在アノ「カムチャッカ」沖合、北洋ノ沖合デハ、蟹漁業或ハ流シ網ト云フヤウナ漁業ガアリマスノデ、此上鱈ノ底網漁業或ハ又今申シマシタ所ノ機船底曳ト云フヤウナモノヲ許可致シマシタナラバ、或ハ摩擦相剋スル所ガアルガラウト思フノデアリマス、併ナガラソレダカラト云ツテ、此豊富ナル資源ヲ放置スルト云フコトハ、如何ニモ惜シイ感じガ致サレルノデアリマス、近キ將來ニ於テ此「カムチャッカ」ノ沖合、或ハ又北千島ノ沖合ト云フヤウナ所ニ、鱈ノ機船底曳網ノ漁業ヲ許可サレルト云フ御意思ガアルカドウカ、之ヲ承リタイノデアリマシタ勢力モナイノデアリマスガ、將來ハ鱈

○三宅政府委員 北洋漁業ノ中デ、今ハ大

ノ漁業ト云フコトガ相當有望ニナリマス
シ、又サセナケレバナラスト云フ考ヲ持ッテ
居ルノデアリマス、併シ收支ノ點ニ於テ現

ニ工船ヲ持ッテ其方面ニ出テ居ルモノガ、儲
カ一隻デハナカッタカト思フノデアリマス、ソ
レモ實際ハ眞偽ノ程ハ保證ノ限リデハアリ
マセヌガ、本年ハ收支償ハヌノデ止メルヤ
ウナ噂ガアルノデアリマス、斯ウ云フ非常
時ノ場合ハ已ムヲ得ナイノデアリマスガ、
若シ平時ニ於キマシテ工船以外ノ底曳ニ於
テ、收支ガ償フト云フコトガ分リマスレ
バ、是ハ私ハ許シテモ宜イモノデアラウト
考ヘテ居リマス、唯現在ノ所デハ先ニ工船
ガ手ヲ著ケルト云フヤウナ所カラ見テ、却
テ工船ノ方ガ收支ガ宜イト云フ所カラ、或
ハ許可ノ關係モゴザイマセウガ、先ニ手ガ
著イタノデハナイカト云フ氣ガ致シマス、
併シ私ハ専門家デハアリマセヌカラ能ク分
リマセヌ

○青山委員長 田中サン、御質問ハゴザイ
マセヌカ

○田中委員 アリマセヌ

○青山委員長 ソレデハ是デ休憩致シマシ
テ午後二時カラ開會致スコトニ致シマス、
暫時休憩致シマス

午前十一時四十分休憩

午後二時二十分開議

○青山委員長 午前ニ引續イテ開會致シマ
ス

○田中委員 私ハ産業組合自治監査法ニ付
キマシテ、簡單ニ當局者ニ御尋致シテ置キ
タイト思フ者デアリマス、第一ニ本法案ノ
機能及ビ之ニ依リマスル效果如何ト云フコ
トニ付テ、一般ニ分リ易ク御説明ヲ願ヒタ
イノデアリマス、現在行ハレツ、アリマス
ル農林省並ニ縣ノ監査ニ對シマシテ、屋上
屋ヲ重ヌル結果トナリハセヌカト云フヤウ
ナ危惧ノ念ヲ持ツノデアリマス、尙又本法
ニ依リマスル監査員ハ四十有餘人ト承ッテ
居リマスルガ、此多クハ役人ノ古手ト言
フト語弊ガアルカモ知レマセヌガ、大體役
人上リト云フヤウナ者ガ之ニ當テラレルノ
デハナイカト推察致シマスルガ、サウ云フ
ヤウナコトニナリマスルト矢張一口ニ言フ
役人ノ捨場ダト云フ風ナ感じヲ以テ、自治
監査ト云フコトノ大切ナ機能ニ付テ本當ニ
效果的ニ其職責ヲ盡サレルコトガ出來ルヤ
否ヤト云フ風ナコトモ考ヘラレルモノデア
リマス、更ニ尙ホ最モ恐ルベキハ、監査員
デアリマシテモ矢張人間デアリマスルカラ、
場合ニ依ッテ感情ニ走ッテ、被監査組合ニ對
シテ浮沈ニ關スルヤウナ行動ニ出ヅルコト

ガアリハシナイカ、是等ノ取締ト云フヤウ
ナコトニ付テハ、ドウ云フ御方針ヲ持ッテ
居ラレルカ、ソレデ第一ニ茲ニ知リタイノ
ハ、此法案ニ依リマスル所ノ主任者ハ、如
何ナル方面カラ御求メニナル御方針デア
ルカ、以上ニ互リマシテ簡單ナガラ承知致シ
タイノデアリマスカラ、適當ナ御説明ニ預
カリタイノデアリマス

○石黒政府委員 只今ノ産業組合自治監査
制度ニ付テノ御質問デゴザイマスガ、産業
組合ノ監査ハ、御承知ノヤウニソレノ
産業組合ノ適正ナ活動ニ付キマシテ、外部
或ハ内部カラ監査ヲ致シマシテ、結局ニ於
テハ、産業組合ノ堅實ナ發達ヲ圖ルト云フ
目的ヲ遂ゲル爲ノモノデゴザイマスガ、其
方法ト致シマシテハ、從來ノ實例ニ見マシ
テモ、地方或ハ中央ノ官廳ノ監査ノ外ニ、
御承知ノヤウニ産業組合中央會ニ監査部ト
云フモノガゴザイマシテ、其監査モ組合ニ對
シテ行ハレテ居ルノデアリマス、併ナガラ
中央會ノ現在ノ監査部ノ仕事ト云フモノハ
如何ニモ小規模デゴザイマシテ、マダ十分
其機能ヲ發揮シテ居ラナイヤウナ譯デア
リマスガ、最近産業組合ニ對スル監査ヲ一段
嚴重ニシナケレバナナイト云フ聲ガ産業
組合ノ内カラモ、或ハ外カラモ起リマシテ、

今年度以來政府ニ於キマシテハ、役所ノ
内部ニ於キマテモ監査ノ施設ヲ充實致シ
マスシ、同時ニ又從來ノ産業組合中央會ノ
監査部デヤッテ居リマスヤウナ、茲ニ所謂自
治監査ト云フ施設ヲ特ニ擴大シ、且ツ確立
スルコトニナッタ次第デゴザイマス、役所ノ
監査ト自治監査ト假ニ比較シテ見マスト、
役所ノ監査ハ、大體ニ於テ監督的ナ立場カ
ラ致シマシテ、組合ノ内部ヲ監査スルノデ
アリマス、勿論監査ノ結果ニ付キマシテハ、
其誤ッテ居ルコトヲ指摘シ、更ニソレニ對シ
テ如何ニシテ矯正シテ行クカト云フ方法マ
デモ示スノデハアリマスケレドモ、サウ立
入ッテ深イコトヲ各細カイ細目マデ示スト
カ、或ハ示シタ結果ニ付テ其實行上ノ援助
ヲスルト云フヤウナ所マデハ參リ兼ネマス
ガ、自治監査ニナリマスと、役所ノ監査ト
多少違ヒマシテ、同じク組合ノ内部ノコト
ニ付テ、其適不適ヲ監査スルニ致シマシテ
モ、組合ノ立場カラ非違ノアル所ハ指摘ス
ル、又ソレノ矯正ノ方法ヲ示シ、場合ニ依
リマシテハ、後ノ矯正方法ニ付テ指導モ
スレバ世話モ燒クト云フコトニナルノデア
リマス、又時ト場合ニ依リマスと、組合ノ
方カラ自分ノ所ヲ一ツ檢査シテ貰ヒタイト
云フヤウナ依頼ニ應ジテ、ソレヲ見テヤル

ト云フヤウナコトモ出來ル譯デアリマシテ、是ハ官廳ノ監査ト又違フ效果ガソコニアラウト思フノデアリマス、自治監査制度ガ確立サレマシタ上デ、其監査員ガ今御話ノ役人出ノ者バカリガ之ニ當ルコトニナル虞ハナイカト云フ御話デアリマスガ、私共ノ考ト致シマシテハ隱居仕事ノヤウニハ無論シタクナイト思ッテ居ルノデアリマス、此産業組合ノ監査ノ仕事ハ或ル程度ノ經驗ガナイト出來マセヌノデ、自然如何ニモ或ル程度ハ多少地方デ指導ノ任ニ當タト云フ人モナリモ致シマセウケレドモ、亦同時ニ廣ク産業組合ノ仕事或ハ産業組合中央會方面ノ仕事ヲヤッタ人或ハ聯合會其ノ他ノ仕事ヲヤッタ人、總テ從來ノ經歷ヨリ産業組合ノ監査ヲヤル能力ガ認メラレマスレバ、成ベク廣ク有能ノ人ガ監査ニ當ルコトヲ望ンデ居ルノデアリマス、ソレカラ監査員ガ監査ノ際ニ、感情ニ走ッテ却テ組合ノ爲ニナラヌヤウナコトヲスル虞ガナイカト云フ御話デアリマスガ、此産業組合監査聯合會ガ出來マス以上ハ、監査員ノ服務規律ト云フコトニ付テ、聯合會ノ内部ニ於テ相當ナ規定ヲ設ケサセマシテ十分サウ云フコトノナイヤウニヤッテ貰ヒタイト私共ハ考ヘテ居リマス、尙ホ政府ノ方ニ於キマシテモ監査員ノ監査

ノヤリ方ニ付キマシテハ十分監督ヲスル積リデ居リマス、ソレカラ此監査聯合會ノ主任者ハドウ云フ人ガナルカト云フコトデアリマスガ、是ハ全國ノ産業組合ガ集ッテ作ルノデアリマシテ、主トシテ全國ノ團體其他産業組合界ニ於ケル指導者ノ方々ガ自然聯合會ノ首腦者ノ大部分ヲ占メルコトニナラウカト思ヒマス、其外此種ノ監査ノヤウナ嚴正ナ仕事ヲ忠實ニヤレルヤウナ人等ガ、自然選バレルコトニナラウト考ヘテ居リマス、大體先程ノ御質問ニ對シマシテ御答致シマシタ

○田中委員 大體ハ分リマシタガ、現在行ハレツ、アリマスル總テノ監査機關ニ對シ屋上屋下重ネルト云フヤウナ虞ハ絕對ニナイト云フコトニナルノデアリマスガ、其點モハッキリ一ツ御願シテ置キタイト思ヒマス

○石黒政府委員 從來ノ中央及ビ地方廳ノ監査ノ仕事ハ、御承知ノヤウニ人手モ足りマセヌノデ、十分ニ參ッテ居リマセヌ、本年度カラ多少充實ヲ致シマシテ精々出來ルダケノ機能ヲ發揮シマシテ、全國ノ産業組合ニ對シテマア五年ニ一回位ノ監査ガ出來ルカト云フ風ニ吾々ハ見込ンデ居ルヤウナ譯デゴザイマスガ、ソレデハドウモ足ラナイ

ヤウニ思フノデゴザイマス、全國ノ産業組合ニ對シテノ監査ガ大體五年ニ一回ヤレルカト云フヤウナ働キデアリマスノデ、實際ニ於キマシテ役所ノ方面カラノ監査ハ、大體中央機關トカ或ハ聯合會其他特殊ノ組合トカ云フヤウナ、産業組合ノ中デモ大キナ方面ニ對シテ實行サレルコトニナルノデアリマス、今度斯ウ云フ監査聯合會ノヤウナモノガ出來マスルト、是ハ寧ロ單位組合ノヤウナ小サナ組合ニ對シマシテ、主トシテ監査ノコトニ對シテ其指導ヲヤルコトニナルノデアリマス、兩々相併セテ或ル程度ニ從來ノ監査ノ働キノ不備ヲ補ヒ合ッテ適當ニ運行シテ行ケルノデヤナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○田中委員 甚ダ諄イヤウデアリマスルガ、現在官吏ニ服務規律ト云フモノガアッテサヘスルコトニ對シテハドウモ旨ク行カヌノデアリマス、然ルニ本法案ハ自治團體即チ監査聯合會ヲ作ルノデアリマスルガ、之ニ依ッテ豫期ノ成績ヲ擧ゲラレルト云フヤウナコトヲ御確信ガアルノデアリマスガ、此法ノ内容ニハ何モ示シテナイノデアリマスルカラ、大體ハ勅令カ何カデ御定メニナッテモ間ニ合フノデハナイカト私ハ思フノデアリマスガ、此法案ノ特ニ要點トセラレル

點ハドシナ所デアリマスガ、御聽カセラ願ヒタイト思ヒマス

○石黒政府委員 從來ノ實例カラ見マスト、先程モ申シマシタヤウニ、中央會ニ監査部ヲ設ケラレテ居リマス、此監査部デヤッテ居リマスル監査ノ實例ニ付テ見マスト、相當ニソレゾレ其方面ノ専門的ナ技術ヲ持ッテ居ル者ヲシテ立派ニ其效果ヲ擧ゲテ居ルヤウニ思フノデアリマス、唯如何ニモ小規模デアリマシテ、僅カバカリノ監査ヲ年々ヤッテ居ルト云フ狀態デアアルノデアリマス、今度此監査聯合會ガ出來マスルト、監査員ノ資格トカ云フヤウナコトニ付テモ相當ナ經歷ナリ體驗ヲ持ッテ居ル者ヲ選ビマスシ、又其服務ニ付キマシテモ、先程申シマシタヤウナ相當ナ規定ヲ設ケ、選任解任ニ付テモ行政廳ノ監督ヲ受ケルト云フヤウナ風ニ致シマシテ、成程是ハ公務員デハゴザイマセヌ、私ノ團體ノ中ノ職員デハアリマスルガ、ソレト致シマシテモ特別ニサウ云フ色々ナ監督ノ規定ヲ設ケマシテ監督ヲ致シマスカラ、從來ノ例ニ徴シマシテモ、相當ニ眞面目ニ仕事ヲヤッテ其ノ效果ヲ擧ゲ得ルモノト私共ハ期待シテ居リマス

○田中委員 私ハモウ宜シイノデス
○青木委員長 西川君

○西川委員 私ハ先ヅ政府委員ニ御尋ラシ

テ行キタイト思ヒマス、大臣ニ御尋シマ
ス事項ガ數多アリマスノデ、冒頭ニ當リマ
ス所ヲ後ニ保留致シマシテ、途中ノ問題カ
ラ政府委員ノ御答辯ヲ願フヤウナ順序ニナ
テ來ルデアラウト思フノデアリマス、第一
ニ漁業組合ガ預金、貯金ヲ取扱ヒ、更ニ
漁業組合ヲ通ジテ金融ヲ行フコトニナリマ
スト、能ク研究ラシテ其指導ヲ誤ナライヤ
ウニシテ行キマス共ニ、金融事業ニ伴フ
所ノ所謂漁村更生計畫ニ付テ十分ノ用意ヲ
以テ臨マナカッタナラバ、私ハ非常ナル禍
ヲ貽ス處ガアルト思フノデアリマス、隨テ
ドウ云フ點ニ付テ今後注意ラシテ行カナク
テハナラヌカト云フコトヲ明ニ致シマス爲
ニ、少シク當局トノ間ニ漁業組合ヲ中心ト
スル漁村社會ノ構成ニ付テ問答ヲ重ネテ見
ナクテハナラヌノデアリマシテ、言葉ヲ色々
重ネマスコトハ洵ニ恐縮デアリマスケレ
ドモ、サウ云フヤウナ意味合ニ於テ御質問
ヲ申上ゲルト云フコトヲ御諒解置キテ願ヒ
タイノデアリマス、凡ソ資金ト云フモノハ
新シイ機關ヲ設ケテ金融ヲ始メマシテモ、
今マデ資金ノ少シモ行ッテ居ナカッタ所ニ新
ニ資金ガ流レテ行クモノデハナイノデアリ
マス、詰リ從來資金ヲ必要トシテ居ッテ所ニ

ハ、何等カノ方法ニ依ッテ資金ハ既ニ行ッテ
居ル、新ニ中央金庫カラ資金ヲ出シマシテ
融通ヲ致シマシテモ、ソレハ今マデ資金ノ
全然行ッテナカッタ新ナル分野ニ入ッテ行
クノデハナクテ、今マデ資金ノ融通ヲサレ
テ居ッテ分野ニ、從來ノ劣悪デアッタ金融條
件ヨリモット好イ條件ニ依ッテ金融ヲサレ
テ行ク、斯ウ云フ風ニ變ッテ行クヨリ外ハナ
イモノデアリマシテ、當然私ハサウナルベ
キモノデアアルト思フノデアリマス、サウス
ルト當局ハ今回ノ施設ニ依ル金融ニ對シテ、
ドウ云フ部分ガ此金融ニ變ッテ來ルモノデ
アルト御考ニナッテ居リマスカ、從來ドウ云
フ方面カラ金融ヲ付ケラレ、ドウ云フ方面
ニ金融ヲシテ居ッテモノガ、今度ノ此新シイ
機關ニ依ッテ融通ヲシテ行クノデアアルカ、其
分野ガドウ變ルノデアアルカト云フコトニ付
テドウ御考ニナッテ居ルカ、此點ヲ先ヅ第一
ニ御聞キシタイト思ヒマス

○三宅政府委員 成程只今西川サンノ仰シ

ヤイマシタ通り、新ナル分野デナイ、從
來ノ分野ノ方ニ條件ガ好クナッテ變ルモノ
モ無論相當ニアルヤウニ考ヘラレマス、併
ナガラ國ガ出資致シマシテ、サウシテ中金
ヲ通ジテノ——而モ其下級團體ハ漁業ニ理
解ノアル漁業組合聯合會ト云フモノヲ通シ

テ行クヤウニナリマス、從來ハ非常ニ危
險ノ如ク思ハレテ居ッテ水産金融モ、理解致
シマシテ長イ目デ見レバ、ソレ程危險ノモ
ノデナイト云フ意味ニ於テ、新ニ融通ノ付
キ易イ部分モ出來テ來ルヤウニ私ハ考ヘル
ノデアリマス、或人ノ話デハ東北ノ如ク不
漁ノ多イ所デアリマシテモ、亦多少危險性
ガアルヤウニ思ハレテ居リマスル漁業ニ致
シマシテモ、之ヲ七年トカ、或ハ人ニ依ッテ
違ヒマスガ、八年トカ云フ平均ヲ取リマシ
テハ立派ニ收支相償ッテ居ルノデアリマス
ガ、一旦中間ニ於テノ赤字ノ場合ヲ見マス
ト、ドウモ危險ダト云フ風ニ誤認サレル向
キガアリマス、大體普通ノ業デアリマスナ
ラバ、四年トカ五年トカ押ヘレバ十分ニ收
支ガ償フヤウニ考ヘラレルカラ、斯ウ云フ
理解ヲ持ッテ居リマスナラバ、相當新タナ分
野ニモ流出ルデアアラウト云フ風ニ考ヘテ居
ル次第デアリマス

○西川委員 此委員會ニ於キマシテモ、從

來金ヲ借りルコトノ出來ナカッタ、金ヲ借リ
ル力ノナイ本當ニ困ッテ居ル漁民ニ對シテ、金
ヲ貸スヤウナ方法ヲ講ジナケレバナラヌト
云フヤウナ質問ガアリマシテ、當局ハ全ク
同感デアル、左様ニ努メマス云フヤウナ
御返事ガアッタノデアリマスガ、併シハ委

員ノ満足ヲ得ル爲ノミノオ坐ナリノ御答辯
ナラバ、私ハソレデモ宜イト思ヒマスガ、實
際ニ漁村ノ金融問題ノ健全ナル發達ヲ圖ッ
テ行カウトスルノニハ、餘程警戒ヲ要スル
ト思フ、サウ云フ意味合ノ、今マデ誰モ金
ヲ貸シテ呉レ手ガナイ、併シ借りタイト云
フ風ナモノハ、實際ノ水産業ナリ漁業ナリ
ノ生産ニ用フル所ノ資金デハナクシテ、寧
ロ消費資金デアルト考ヘル、サウ云フ場合
ガ非常ニ多イト思フ、而モ現在ノ漁村ノ狀
況ニ於キマシテハ、非常ナ貧窮ノナ狀態ニ
ナッテ居ルカラ、消費資金ノ缺乏ニ非常ニ困ッ
テ居ルノデアリマス、是ハ漁村ニ於キマシ
テ、質屋ガ如何ニ繁昌シテ居ルカ、而モ其
質種ガ如何ニ見窄ラシイ物ヲ持ッテ來テ居
ルカ、又高利貸ノ所謂日歩ノ如何ニ高イ金
ヲ彼等ガ借りテ居ルカ、又消費財ノ米代ト
カラ店カラ借りマス者ガ、其支拂ノ成績ガ
惡イ爲ニドシナニ惡イ條件ノ下ニソレ等ヲ
借りテ居ラナケレバナラヌカト云フヤウナ
事實ニ鑑ミマスル時ニ、若シ漁業組合ガ金
融ヲ始メテ金ヲ貸シテ呉レルコトニナッ
タラバ、直チニ飛付イテ來ル者ハ、私ハソ
レ等ノ者ガ一番先ニ飛付イテ來ルト思フノ
デアリマス、併ナガラ是等ニ對スル金融ハ
自ラ別箇ノ見地カラ考ヘテ行カナケレバナ

ラス、是ハ今回提案ヲサレマシタ所謂庶民金庫カラ相當ノ貸倒レガアルト云フコトヲ覺悟シテ貸ス方ノロデアリマシテ、是ハ今回此法律ニ依ル所ノ所謂金融ノ對象デアルベキデナイト思フ、ソレデ水産當局ハ漁村ニ對スル社會政策ノ對象トシテノ漁民ト、水産行政ト云フ一ツノ産業政策ノ對象トシテノ漁村トハ、範疇ヲ別ニ御考ニナツテ、其對策ヲ立テ行カナケレバナラスト私ハ考ヘル、隨テ今回ノ金融ハ、社會政策ノ對象トシテノ漁村ヲ見テ行カレルノデハナクシテ、此庶民金庫ハ漁村ニハ及バナインデアリマセウガ、サウ云フ者ニ及ボスヤウニシナケレバナラスト云フ問題ガアル、併シ今回ノ産業政策水産政策トシテノ生産の方面ニ著目シテ、健全ナル金融ガ回收ガ出來ルト云フコトヲ目標トシテノ施設デアラウト思フノデアリマスガ、其點ニ對スル所見ヲモウ一度伺ヒタイ

○三宅政府委員 此度ノ資金ハ只今仰セノ消費資金ヲ目的トシテ居ルモノデアリマセヌ、生産資金ヲ目的トスルヤウニ立案シテ居リマス

○西川委員 ソコデ生産資金ヲ目標トシテ居ラレルノデアリマスガ、併ナガラ實際ニ農村ニ於キマシテモ、漁村ニ於キマシテモ、

山村ニ於キマシテモ、其生産的ノ活動ト消費のナ生活ト云フモノガ分解サレテハ居ラヌノデアリマス、ソレハ一ツニクッ付イテ居ル、生産資金トシテ借リタ積リデハアルケレドモ、ソレガ皆ク行カナイ時ニハ直グソレヲ消費ノ方ニ喰込シマフ、是ハ特ニ水産業ニ於テ其危険ガ著シク大キイノデアリマス、ソコデ此憂ヲ無クシマスル爲ニハ、此金融政策ニ伴ヒマシテ、所謂經濟更生計畫ヲ樹立實行シ、特ニ此漁村民ノ記帳生活ニ付テ、自分ノ經濟ノ内容ヲ帳簿ニ記シテサウシテ生活ヲ合理化シテ行クト云フコトヲ指導ヲ怠リマシタナラバ、當局ハ只今ノ目標ニ依ッテ金融ヲ御付ケニナリマシテモ、結果ニ於テハ、ソレハ消費資金ニ喰込シマウ、其結果漁業組合ガ貯蓄預金等ヲ取扱ウテ行キマス、其方面ニ迄何時ノ間ニカ喰込シマツテ、初期ノ産業組合、信用組合ガ、屢、此失敗ヲ繰返シマシテ、一時信用組合ガ全國のノ恐慌時代ガアリマシタ如キ狀態ガ近キ將來ニ於テ私ハ漁村ニ起ッテ來ハシナイカト云フコトヲ隨分憂ヘテ居ルノデアリマス、漁村ニ對シマシテハ、從來モ經濟更生部ノ方ニ於キマシテ、更生計畫ノ樹立實行ニ對シテ御指導ニナツテ居リマスケレドモ、今迄ハ實際常軌ニ乘ッテ居リマセ

ヌ、唯農村ノ更生計畫ニ追隨シタト云フニ過ギズシテ、本當ニ經濟ノ内容ヲ合理化シ更生シテ行クト云フヤウナ組織ニ迄マダ入テ居ラヌノデアリマスガ、是ハ此事業ト共ニ、當然シテ行カレナカッタナラバ、將來大キナ禍ヲ起スト思フノデアリマス、此點ニ付テハ特ニ御注意ヲ御願シタイト思ヒマス、ソレカラ生産資金ヲ融通スルト云フコトニナリマス、漁業組合ヲ通ジテ、詰リ漁業組合ト云フモノヲ以テ、其政策ノ對象トシテ行クコトガ、果シテ適當ナリヤ如何ト云フコトニ付テ、私ハ色々考ヘナケレバナラスト思フノデアリマス、詰リ實際ニ現在資金ヲ要シマスル漁業ト云フモノハ如何ナル漁業デアルカ、是ハ唯小漁業ガ資金ヲ要スルト言ヒマシテモ、此小漁業ニ資金ヲ供給シマス、是ハ消費資金ノ方ニ喰込マレル虞ガアル、詰リ沿岸デ、自分ノ勞働ヲ以テ、自分ノ手ヲ以テ釣ッテ來ルトカ、自分ノ手デ網ヲ入レテ來ルトカ云フ者ニ對スル資金ノ供給ハ、消費資金ニナツテ喰込マレル虞ガアル、實際ノ漁業資金トシテ要シマスルモノハ、是ハ寧ろ中ノ漁業デアルト思フ、ソレ等ノ漁業ハ漁業組合ヲ通ジテソレ等ノ者ニ金融ヲ付ケル方法ガ果シテ出來ルカドウカト云フコトニ付テ、

私ハ當局カラ御教ヲ願ヒタイ、大體此漁業組合ト云フモノノ實體ガ現在ドウ云フ風ニナツテ居ルカ、私一例ヲ申上ゲマスナラバ、私ノ住ンデ居リマスル山口縣豐浦郡ノ特牛ノ漁業組合、是ハ有名ナ鰯ノ流刺網ノ漁業權ヲ持ッテ其網代漁デヤッテ居ル組合デアリマス、所ガ此鰯漁業ニハ何處カラ入ッテ來ルカト言ヘバ、恐ラク石川縣ノ青山サンノ統率下ニアリマス所ノ漁業者ガ入ッテ來ルデアラウト思フノデアリマス、ソレガ入ッテ來テ漁業ヲスル、サウスルト其特牛ノ漁業組合員ト云フモノハ如何ナル者デアルカト申シマス、其石川縣カラ入ッテ來ル漁業者ノ漁獲シマシタモノヲ販賣スル市場ヲ經營シテ居ル、又ソレ等ノ者ガ網ヲ買ッタリ其他ノ仕込ミラスル店デアルトカ、ソレカラ一番多イノハ女郎屋デアル、ソレ等ノ者ガ遊ンデ呉レル遊廓ノ主人公、酒屋ノ主人公、斯ウ云フ者ガ漁業組合員デアル、實體ハサウナツテ居ル、ソレデ實際ニ其仕事スル者ハ石川縣ノ漁夫デアリマス、又機船底曳網ニ於キマシテモ多クハサウデアリマス、島根縣ノ機船底曳網ノ漁業者ガ山口縣ノ漁場ニ出テ漁獲シテ其漁獲物ハ下關ニ持ッテ行ッテ販賣スル、其資本ハ下關ノ問屋カラ融通ヲ受ケテ居ル、斯ウ云フ形ニナツテ居ル、又

鯖中著網ノ免許ヲ一ツ受ケテモ、其漁業權ヲ持ッテ居ルモノハ、此土地ノ漁業組合ガ持ッテ、網代ヲ取ルノデアリマスガ、其免許ヲ受ケマシタ者ハ、名義ダケノ免許ヲ取ッテ、實ハ一年ニ千圓カ二千圓ノ權利金ヲ取テ鹿兒島縣ノ漁業者ニ行ハセテ居ル、實際ニ資金ヲ必要トシテ漁獲ヲ行フノハ鹿兒島縣ノ漁業者デアル、斯ウ云フ状態デ、内容ハ複雑多岐ヲ極メテ居ルノデアリマスカラ、漁業組合ガ此金融ノ事業ヲ行ヒマシテ、果シテ實際ニ資金ヲ必要トスル者ニ行クカドウカト云フコトニ付テ、私ハ多大ノ疑問ヲ持ツノデアリマス、ソレデ私ガ考ヘマスノニ、本當ニ漁業ノ生産的ノ資金ヲ融通スルト云フ考デアルナラバ、漁業組合ト云フ一ツノ土地ヲ區域トスル一圓的ノ團體ノ外ニ、所謂業種別ノ團體ト云フモノヲ政策ノ對照トシテ行ク必要ハナイカ、例ヘバ機船底曳網漁業ヲシテ居ル機船底曳網組合デアルトカ、或ハ鯖中著網組合、鰯刺網組合ト云フヤウニ、各業種別ニ依ッテ出來テ居リ、實際ニ漁業ヲスルソレ等ノ團體ヲ政策ノ對象トシテ見テ行クコトガ、本當ノ漁業ヲスル者ノ眞髓ニ觸レテ來ルコトニナラウト思フノデアリマスガ、從來水產當局ノ方針ト致シマシテハ、是等業種別ノ特殊ノ

水產組合ノ設立ハ認メラレテ居リマスルケレドモ、實際ニハ漁業法ニ基ク是等ノ團體ト云フモノハ、極メテ少イヤウニ私ハ承知シテ居ル、多クハ申譯の組合デアリマスケレドモ、實際ニハソレガ一番力ヲ持ッテ居ル、其一番力ヲ持ッテ居ル組合ニ對シテハ、從來當局ハ何等指導獎勵ノ對象トシテ居ラレナイノデアリマスガ、私ハ實際ニ水產政策ヲ確立スル爲ニハ、是等ノ業種別ノ組合ヲ水產行政ノ對象トシテ採上ゲテ行ッテ、是等ニ對シテ指導獎勵策ヲ行ウテ行クト云フコトガ、實際ノ資金ヲ必要トスル水產ニ金融ヲ付ケ、ソレ等ノ發達ヲ圖ル所以デアラウト思ヒマス、是等ニ對スル當局ノ御所見ヲ伺ッテ置キタイ

○三宅政府委員 御尤ノ御意見ト拜承致シタノデアリマスガ、例ヘバ甲ノモノガ乙地ニ於テ漁業ヲ營ム場合ニ於テハ、今ノ法規ニ於キマシテハ、乙デ營ンデ居ッテモ、甲ノ所在地ノ甲ノ漁業組合ノ組合員ニナレルノデアリマシテ、其甲ノ方ノ漁業組合員ハ、乙ノ方カラハ融通ヲ受ケラレマセスケレドモ、甲ノ方カラ受ケラレルト云フ解釋ヲシテ差支ナイト思フノデアリマス、モウ一ツ今ノ石川ト山口ト云フコトガ例ニナリマス一寸困リマスケレドモ、同ジ縣内ノ端ト端トモ

ノハ、是ハ一ツノ縣内ノ聯合會デ融通ガ付キマス、併シ御話ノ通り縣ガ違ッテ居リマス、其聯合會ナリ、組合自體ハ漁業ノ馴染ノ薄イ所デアッテ融通ハ付キマセヌガ、立前ガサウナッテ居リマス

ソレカラ業種別ニ對シテノ漁業獎勵ノ方針デアリマスガ、現在若干ハ致シテ居リマス、是ハ主トシテ輸出品ノ漁業ニ對シテ事重大ナリト見テ、左様ナ指導方針ヲ執ッテ居リマスガ、御話ノ通り水產組合ハマダ百ニ滿タナイヤウニ考ヘテ居リマス、是ハドウカト思フノデアリマスガ、今マデノヤリ方ハ何ト申シマシテモ御話ノ通り、大中小ノ漁業者ガ一緒ニナリ、業態カラ言ヒマシテモ製造家ト漁業者ト云フモノガ一體トナッテ漁業組合ト云フモノガ指導方針ノ對象ニナッテ居ッタノデアリマス、私ハ斯ウ云フヤウナ考ヘ方モ一村一體トシテ一ツノ考ヘ方デアラウト思フノデアリマスケレドモ、サウ云フヤウナ現状ニ於キマシテモ、内部ニ於テ業種別ト云フヤウナ觀念ハ少クトモ是カラ入レテ行カナケレバナラヌヤウニ考ヘテ居リマス、例ヘバ製造家ト漁業者ハ現在ノ法律ノ下ニ於テ協同組合ガ出來ルノデアリマスガ、製造家ノ方ガ非常ナ勢力ヲ持ッテ抗議ヲ申込ンデ來レバ、漁業者ノ方ハサッパリ成立タ

ヌノデアリマスカラ、サウ云フ場合ニハ漁業ニ付テハ組合員タル製造家ハ先ヅ默ッテ居ル、斯ウ云フヤウナ意味ニ於テ業種別ノヤウナ思想ハ少クトモ入レテ行カナケレバナラヌト云フヤウニ考ヘテ居リマス

○西川委員 尙ホ小サイ點ヲ餘リ穿鑿シマスト、非常ニ委員各位ニ御迷惑ヲ掛ケマスカラ、大體其點ハソレデ打切ッテ置キマス

次ニ是ハ大臣ノ認識ヲ改メテ貰ハナケレバナラヌト思ヒマスガ、マダ大臣ハオ出デニナリマセヌノデ、大臣御出席後ニ御質問致シタイト思ヒマスケレドモ、其時間ヲ空費スル譯ニ行キマセヌカラ質問ヲ續ケマス、大臣ノ御認識ニハ水產當局ノ御認識ガ反映スルノデアラウト思フカラ、其本ノ方ヲ改メテ行カナケレバナラヌト云フ意味ニ於テ此質問ヲシタイト思フノデアリマス、ソレハ水產政策ト漁村政策トノ關係デアリマス、水產政策ト云フ言葉ノ含ム意味ト漁村政策ノ關係、資本漁業ト沿岸漁業ノ關係ニナッテ來ルノデアリマス、私本會議ニ於テモ御尋シマシタヤウニ、當局ハズツ以前ニ水產政策ト云フコトニ重キヲ置カレテ、大臣モ先日委員會デ御述べニナツタ通りニ、人ヨリモ物ニ重キヲ置イテ、我國ノ水產生産物ノ増加ヲ圖ルトカ、或ハ國際貸借ノ改善ヲ圖

ルト云フ意味ニ於キマシテ、唯總生産額ノ増加ニ重キヲ置イテ來ラレタ結果、生産高ハ増加シタケレドモ、漁村ハ疲弊シテ來テ居リマス、其後最近ハ物ヨリモ人ニ著目シテ、漁村ニ生活シテ居ル漁業者ノ生活ノ向上安定ト云フコトヲ目標トスル一ツノ對策ニ轉ジテ來ラレタト云フコトハ、大臣モ先日御辯明ニナツタ通りデアリ、當局モ左様ニ見テ居ラレルト思ヒマス、併シ漁村ニ住ンデ居リマス者ノ生活ノ安定向上ヲ圖ッテ行クコトガ、水産政策ノ全部デアッテ宜シイカドウカト云フコトニ付テハ、私相當ノ疑問ガアルト思フ、水産業ト云フモノハ日本國民ノ極メテ重要ナル食料品デアリマスル所ノ水産物ヲ生産スル産業デアリマスルカラ、單ニソレニ從業シテ居ル者ノ生活ガ安定シ向上スレバ宜イト云フダケデナシニ、全國民ノ生活問題ノ上カラ豊富ニシテ低廉新鮮ナル水産物ヲ供給サレルト云フコトモ亦當局ノ政策ノ眼目デナクチャナラヌデアリマス、此點ヲ若シ當局ガ御忘レニナツタトシタナラバ、ソレハ非常ナ誤デアリマシテ、當局ハ一面國民ノ食料供給ノ資源トシテノ水産業ノ發達ヲ圖リ、其豊富ニシテ低廉、新鮮ナル水産物ヲ供給シナガラ、尙ホ傍ニ於テ漁村ノ者ノ生活ノ安定ト向上ヲ

圖ッテ行ク、此兩方ヲ十分ニ睨ミ合セテ行カレナカッタナラバ、水産政策ハ全キヲ得ナイノデアリマス、然ルニ先日モ大臣ノ此委員會ニ於ケル御答辯等ヲ聽イテ見マシテモ、大臣ハ肝腎ノ國家的見地ノ下ニ、國民ノ食料問題ト云フ見地ノ下カラ見テ行カナケレバナライ水産政策ト云フコトヲ看過シテ居ラレノデハナイカ、ソレハ又水産當局ノ思想ノ反映デハナイカト思フノデアリマスガ、此點ニ付テノ御考ハドウデアアルカ承テ置キタイト思フ

○三宅政府委員 私ハ御説ノ通りニ、豊富ニシテ低廉ナル魚族ヲ多數ノ國民ニ供給スルト云フコトガ水産政策ノ大事ナ部分デアルト考ヘテ居リマス、唯ドノ方面ニ於テドウ云フヤウニ漁獲シテ行クカ、多獲スベキ場合ニ於テドノ方面ニ於テ多獲シ、ドノ場面ニ於テ減ズベキカハ別問題デアラウト考ヘラレマス、十二年度カラ底曳網ノ整理ヲシマシタケレドモ、其船ハ總テ轉業シテ外ノ所ニ行ッテ外ノ魚ヲ獲ル、或ハ東經百三十度以西ニ於テハ、底曳網ノモノト沿岸ノモノハ違ヒマスケレドモ、以東ニ於テハ同じモノガ甚ダ多イノデアリマス、斯ウ云フヤウナコトモ考ヘラレラウト私ハ想像スルノデアリマス、一方ニ於テハ沿岸ニ増殖

スル、他方ニ於テハ大ナルモノヲ減ラス、併シ轉業シテ殖ヤシテ行クノミナラズ今回御協賛ヲ得ントシテ居リマスモノノ中ニハ、進ンデ中部太平洋ニ於キマシテ鮪ノ調査ヲ致シテ——是ハ現在輸出向トシテハ數量ハ極メテ足ラナイノデアリマス、其方ヘ持つテ行ク、近イ所ノ、沿岸漁業ト云ッテモ宜イ程度ノ鯉漁業者ヲウント遠洋ヘ持つテ行ッテ轉換セル、斯ウ云フヤウナコトモ實ハ若干デアリマスケレドモ、豫算ニ計上シテ居リマスルシ、ソレカラ又非常ニ澤山獲レテ、食料ニナライデ粕ニナルト云フヤウナモノモ冷蔵庫ニ之ヲ藏テ置イテ、サウシテ之ヲ漁村ナリ農村ノ方ニ送出スト云フヤウナ施設モ新ニ、若干デアリマスガ、ヤハリ來年度ノ豫算トシテ計上シテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、決シテ全體ノ量トシテモ現状維持デ宜イト云フヤウナ考ハ毛頭持つテ居ラナイノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○西川委員 其認識ニ於テ兩方面ヲ睨合セテ政策ヲ行ッテ貰ヒマスナラバ、此問題モ敢テ私ハ追窮シナイノデアリマス、其次ニ先ニ申シマシタ資本漁業ト沿岸漁業ノ關係デアリマスガ、當局ハ之ヲ二ツノ存在トシテ御考ヘニナルヤウナ傾向ガアルヤウニ思フノ

デアリマス、併シ是ハ水産業ト云フ一ツノ生産方面カラ云ヒマスケレバ二ツノ存在カモ分リマセヌガ、漁村政策トシテ、詰リ漁村民ノ生活ノ安定ト向上ヲ圖ッテ行クト云フ點カラ言ヒマス、是ハ一ツノ存在デアルト云フコトヲ御認メニナラナクテハ、妥當ナル政策ハ立たヌト私ハ思フノデアリマス、私ガ縷々申上ゲルマデモナク、賢明ナル局長ハ御承知ノ通りニ、現在ノ沿岸漁業ニ於テドンナニ御當局ガ御指導ナサイマシテモ、少々築磯ヲナサイマシテモ、魚床ヲ御作リニナツテモ、又海藻類ノ色々ノ培養等ヲナサイマシテモ、ソシナコトデ一家ノ經濟ヲ立テ、行クダケノ收入ハ決シテ沿岸漁家ハ得ラレルモノデハナイノデアリマス、隨テ靑壯年ハドウシテモ資本漁業ノ勞働者トナッテ出テ行カナクチャナラス、ノミナラズ、漁家ノ經濟ノ内容ヲ分析シテ見マスナラバ、靑壯年ハ遠洋漁業、資本漁業ノ勞働者トナッテ出テ行ク、其收入ノ外ニ又娘等ハ或ハ「カフエー」ノ女給トナリ、宿屋ノ女中トナッテ稼ギニ出テ、ソレ等ノ仕送りモ亦漁家ノ收入ノ相當ナ部分トナッテ居ルノデアリマス、漁村政策ト致シマシテモ「カフエー」ノ女給ノ收入ガドンナ風デアアルカ、宿屋ノ女中ノ收入ガドンナ風デアアルカト云フコト

考ヘニナルヤウナ傾向ガアルヤウニ思フノ

マデ見テ行カナクチャ實際ノ漁村政策ノ眞髓ヲ把握スルコトハ出來ナイノデアリマスルガ、要スルニソレ等ノ收入ガ集ッテ來テ、其全體ノ收入ガ一番多クナッテ、ソレ等ノ生活ガ惠マレルヤウニ仕向ケテ行クト云フノガ漁村政策ノ目標デナケレバナラスト考ヘルノデアリマス、而モ此水産經濟ノ經營ニ於キマシテハ、他ノ經濟トハ極メテ趣ヲ異ニシマシテ、資本家ト労働者トノ間ハ收益分配制度デアル、其收益分配ヲ行フノニ船ノ償却費トカ、資本家ノ負擔シマスモノハ漁獲物ガ多クテモ少クテモ頭カラ漁獲物ノ中カラ引去ッテシマッテ、サウシテ殘ツタモノヲ労働者ニ分配スルト云フコトガ多イノデアリマスカラ、此資本漁業ニ於ケル生産費ガ高クナルトカ、其成績ガ擧ガラナイトカ云フヤウナコトハ、ソレガ全部労働者ノ負擔ニナッテ、沿岸漁村民ノ生活ニ重大ナ影響ヲ持ッテ來ルノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付テ十分ナ認識ガアルカドウカ、認識ヲシテ置イテ戴ケレバソレデ宜イノデアリマス、隨テ若シ此沿岸漁村民ノ生活ヲ護ル爲ニ資本漁業ヲ壓迫スルトカ、遠洋漁業ハ最早以上獎勵スベキモノデハナイト云フヤウナコトヲ考ヘルヤウデアリマシタナラバ、是ハ大ナル誤リデア

ルト云フコトヲ私ハ此處デ高調シテ置キタイ、其事ヲ御認メニナリマスレバ御答辯ハ要リマセヌ、若シ其反對ノ御見解デアリマスルナラバ御答辯ヲ戴キマスクレドモ、御同感デアリマスレバ敢テ御答辯ハ戴カナイノデアリマス、同感デアリマスカ

○三宅政府委員 同感デアリマス

○西川委員 ソレデハ次ノ問題ニ私ハ移ッテ行キタイ、其次ノ問題ハ機船底曳網ノ整理問題デアリマスガ、私ハ此機船底曳網ノ整理問題ハ、法令ノ上デハ整理ハ出來テモ、實際ノ上ニ於キマシテハ整理ハ出來ナイダラウト思フノデアリマス、先日濱地君ノ質問ニ對シマシテ、局長ハ、現在免許ヲ受ケテ居ナイ禁止漁業ヲ敢テ犯シテヤッテ居ル者ハ地方ニ相當アル、而モ何故直チニ之ヲ處分シナイカト言ハレルト、直チニ之ヲ處分スルコトハ農林省トシテハ中々困難デアルカラ、其實際ニ禁止漁業ヲヤリツ、アル者ト縣トノ間ニ何等カノ解決ヲ付ケテ來ナクテハ、農林省トシテハドウニモ出來ナイ、ト云フヤウナ御答辯ガアッタノデアリマスルガ、此事實カラ推測シマシテモ、現在機船底曳網類似ノ禁止漁業ヲ敢テ犯シテ居ル漁船ハ相當アルダラウト私共ハ想像シテ居ル、其數ハ二千隻ニ近イ數ニ上ルト云フヤ

ウニ私共ハ聞イテ居ルノデアリマスガ、是等ニ付キマシテ當局ノ調査ナサツタ所ハドウデアリマスカ

○三宅政府委員

無許可デ機船底曳網類似ノ漁業ヲ營ンデ居ル者ハ、詳シイ數字ハ一寸持合セマセヌガ、一万數千隻ニ及ンデ居ルヤウニ考ヘテ居リマス、只今御話ノアリマシタ濱地サンノ御話ノハ、許可ヲ受ケナクテヤッテ居リマスル機船底曳網類似ノ漁業デアリマシテモ、凡ソ二種類ゴザイマシテ、發動機ハ付ケテ居ッテモ、横ニ曳クノデアッテ縱曳ガ出來ナイ、漁場ヘノ往復ノミニシカ使ッテ居ラナイト云フモノモ相當アルノデアリマス、ソレト本當ニ縱曳スル所ノ強イ違反ト云フモノト、同じ違反ノ中デモ二ツニ分レル、其漁場ヘノ往復ノミニ使フモノモヤハリ違反漁業ト云フコトニナッテ居リマス、デ斯ウ云フヤウナモノハ今當局者ニ於テ色々考ヘマシテ、斯ウ云フ案ハドウデアラウカ、斯ウ云フ案ハドウデアラウカト云フヤウナ、色々ノ案ヲ考ヘテ居ル最中デアリマス、デアリマスルカラ、サウ云フコトニ依ッテ善處シテ行カナケレバナナルマイト思ヒマスガ、今此處ニ於テハ是ハ甚ダ申上ゲ惡イノデアリマスカラ、ドウカ其點ハ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○西川委員 其點ハ能ク諒承致シマス、唯

問題ハ斯ウナノデス、免許ヲ受ケナイ禁止漁業ヲヤッテ居ル者モ整理ノ付カヌヤウナ状態ニ今日アル、現ニ禁止漁業ヲヤッテ居ル者デスラ整理ガ付カヌ、サウスルト現在免許ヲシテ居ル所ノ機船底曳網ノ免許ヲ取消シタカラト云ウテ、免許ヲ取消シタダケデアッテ、彼等ガ欲セザルノニ之ヲ整理シヨウト強壓的ニ掛ツタノデハ、彼等ハ唯免許ヲ取消サレ、バ、免許ヲ取消サレク者ハ禁止漁業ヲヤリ出ス、詰リ當リ前ニ働イテ居ル者ガ泥棒ヲヤリ出ス、支那ノ兵隊ガ變ジテ馬賊ニナツタ、斯ウ云フコト以外ニ得ル所ハナイダラウト私ハ思フ、而モ此處レハ非常ニ多分ニアルノデアリマス、局長ハ御承知ノコトト思ヒマスガ、又一ツノ例ヲ申上ゲマスガ、私ノ屢、引用致シマス大島郡安下庄ノ漁業部落ニ於テ何故アンナニ貧乏ヲスルカ、何故彼等ガアノ慘澹タル生活ヲシナケレバナラナイカト申シマスト、二艘持網ノ機船底曳網ノ禁止漁業ヲ彼等ガヤッテ居ル、禁止漁業デアルカラ時々捕ッテ罰金ヲ取ラレル、其上ニ網ヲ取上ゲラレル、其網ガ八十圓位スル網デアアルガ、ソレヲ何箇月目カニハ網ヲ取上ゲラレル、罰金ヲ取ラレル、又ソレニ追徴金ヲ取ラレル爲ニ、

稼グノハ稼グノデアルケレドモ罰金ヲ稼グ爲ニ生活ヲシテ居ル、ソレデハ何故斯ウ云フヤウナ禁止漁業ヲシテ居ルカト云ヘバ、

自分達ハ此漁業ヲスルヨリ外ニ生活ノ途ガナイ、自分達ハ之ヲシテ稼グヨリ外ニハ生

キテ居ラレナイ、ダカラ死刑ニシテ下サレバ私共ハ之ヲ止メルケレドモ、死刑ニサレ

ナイ限り、生キテ居ル限り私共ハ生キル爲ニハ之ヲスルヨリ外ニ途ハナイ、彼等ハ叫

ンデ居ル、是ガ私ハ漁村民ノ實情デアルト

思フ、實際ニソレヲヤル外ニ生キル途ノナイ漁民ニ對シテハ、如何ナル法令ヲ以テ之

ニ重壓ヲ加ヘマシテモ、結局ハソレ等ヲ捕ヘテハ罰金ヲ取り、追徴金ヲ取り、網ヲ沒

收シテ、彼等ヲ苦シメルト云フ以外ニ效果ハナク、何等水産政策ニ寄與スル所ハナイ

ト云フ結果ニナルデアリマス、私ハ今回

ノ機船底曳網ノ整理問題ガ悉ク斯様ナ結果ニ陥ッテ行クトハ申シマセヌガ、併シ當局ガ

ソレ等ノ漁民ノ轉業スル途ヲ開イテ、積極的方面ヲ打開シテ行ク、積極的ニ解決ノ途ヲ圖ッテ行クト云フコトヲサレズニ、消極的

ニ此解決ノ途ヲ圖ラウトサレルナラバ、是ハ實ニ恐ルベキ結果ニ陥ッテ行ク外ハナイ

ト思フノデアリマスガ、此點當局トシマシ

テ十分御考慮ノ上ニ、其對策ガ立ッテ居リマ

ス、左様ナ意味ニ於テ對策ヲ立テラレンコトヲ希望スル者デアリマス

次ニ私ガ御伺スルノハ、此機船底曳網漁業ガ旨ク轉向シマシタト致シマシテモ、是ハ

日本ノ食料問題ニ及ボス影響ハ極メテ重大

デアル、ト申スノハ、水産加工物ノ原料ハ大抵此機船底曳網漁業等ノ漁獲物デアリマス、

蒲鉾、竹輪、味淋干等ノ原料ニ付テモ、是等ノ物ガ多イ、ソレハ沿岸ノ魚族ヲ保護スルカラ、サウ云フ材料ガ出來ルノデハ

ナイカト思ハレルカモ知レマセヌガ、ソレハ生産費ガ非常ニ違フ、機船底曳網デ一捲キニ捲取ッテ來ル生産費ト、沿岸漁業ノ生産費トハ非常ニ違ヒマスカラ、此機

船底曳網ノ整理ガ強化サレマシタ結果ニ於テハ、水産加工等ノ事業ハ一大打撃ヲ來シ、其方面ニ於ケル水産業ノ打撃ハ私

ハ少クナイト思フ、又太平洋ノ鰹漁業ニ轉換シマシテモ、鰹デ蒲鉾ハ造レナイノデアリマシテ、今マデノ水産加工ト云フモノ

ガ、全面的ニ當局ガ想像シテモ居ラレヌヤウナ思ハザル所ニ非常ナ打撃ガ起ッテ來ルコトモ爭フベカラザル事實デアルト考ヘマ

ス、隨テ其船其モノガ轉換スルト云フコトダケヲ考ヘラレズニ、更ニ其周圍ニ於テ影響ヲ受ケル所廣汎ナル水産界全般ニ付テ對

策ヲ講ゼラレテ行カナクテハナラヌト思ヒ

マス

次ニ私御伺致シタイノハ、本會議ニ於テ、私ガ現在ノ水産業ガ何故行詰ルカ、漁村ガ

何故疲弊スルカ、漁民ガ何故貧乏スルカト云フノハ、單ナル個別的ナ、現象的ナ問題ダケデナクシテ、其根本ニ於テ現在ノ價格

經濟組織ノ下ニ於テ、工業生産物ガ獨占價

格ニナッテ居リ、農畜生産物ハ統制價格ニ依ッテ維持サレテ居ル、其間獨リ水産物ノ

價格ハ自由放任ノ波ニ揉マレテ、此社會經濟法則ノ必然的ノ歸結トシテ今日ノ水産界ガ行詰ルノデア

ルト申上ゲタノデアリマス、而シテソレニ對スル對策ヲ聽キマシタ所、高橋農林政務次官ハ、「農林水産物價ガトモスルト他ノ物價ト缺狀價格差ヲ保ツ、殊ニ水産物ノ價格

ガ一番等閑ニサレテ居ルノデハナイカト云フ御話デアリマスルガ、此點ニ付キマシテ

モ色々ト考慮ヲ致シマシテ、共同販賣其他ノ方法ニ依リマシテ、行政ノ運用ニ依リマシテ、是非トモ御指摘ノヤウナコトノ少シ

デモ少クナルヤウニ致シタイト考ヘル次第デアリマス」斯ウ云フ御答辯デアッタノデア

リマスガ、是ハ私ハマダ認識ガ達ッテ居ルノデヤナイカト思フ、サウ云フ微細ナ技術

的小サナ問題デナイ、是ハ社會經濟ノ法則ノ根本ノ問題デアリマスカラ、是ガ克服ニ對シマシテハ、水産當局ト致シマシテハ、之ヲ克服シ得ル體系的ノ政策ヲ調査研究シ、之ヲ樹立シテ行カナカタナラバ、到底ドンナニ逆立ラサレマシテモ、水産業ノ振興、漁村ノ更生ト云フコトハ出來ルモノデヤナイ、社會科學ノ必然的ノ法則デアル、ソコデ是等ニ對シマシテハ、私ハ漁業水産ノ經濟ニ對スル熱心ナル研究ヲ行ッテ、其諸法則ヲ明ニシテ、ソレニ對スル對策ヲ樹立サレナクテハナラスト云フコトハ本會議ニ於テモ申述ベタノデアリマス、水産經濟ニ付テハ水産講習所デ水産經濟ノ講義ヲ始めタト云フ御話ガアッタノデアリマスガ、ドンナ講義ガ始マツカ知ラスガ、サウ云フ問題デナクテ、モット突込シタ根本問題ニ付テ農林當局トシテハ御考下サツテ、其對策ヲ講ジテ行カレル必要ガアルト思フノデアリマス、其點ニ付テ水産局長ノ御決心ノ程ヲ伺ッテ置キタイ

ノデナイト云フ感ジヲ深く致シマシテ、實ハ非常ニ惱シデ居ル次第デアリマス、ソレデ甚ダ遅滞ナガラ漁業組合ノ全國ノ聯合會ニ匹敵スルヤウナ組織ヲ作ラセマシテ、サウシテ單純ニ、地方々々ノ共同販賣デハ物足ラスノデアリマスカラ、例ヘバ六大都市ノヤウナ大キイ所ニハセメテ販賣斡旋所ノ如キモノヲ作ッテ行カネバナラスト云フノデ、ヤット半年掛リデ、東京ノ魚市場ニ三人バカリガ寢泊リラシテ、斡旋ヲスルヤウニヤット二月カラナツタヤウナ次第デアリマス、甚ダ申譯ナイノデアリマスガ、何トカ是ハシナケレバナラスト云フ心持ノ現レデアリマス、タツタ半年バカリノ現レデアリマスノデ碌ナコトハゴザイマセスガ、サウ云フ氣持ヲ持ッテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ魚價ノ調査ト云フコトモ、若干ハ農林省トシテハゴザイマスケレドモ、固ヨリ僅カノ村ヲ調べタケデゴザイマスガ、是等モ相當致サネバナラスト云フ氣持ヲ、僅カデハアリマスルガ現シテ居ル次第デアリマス、御説ノ通り此點ニハ十分ナル努力ヲ拂フ決心デゴザイマス

者デアリマス、サウ云フ當局ノ御決心ニ對シテ、私共出來ルダケ協力シテ、此問題ノ根本的解決ヲ圖ルベク努力スル積リデアリマス、更ニ私ガ御同致シタイノハ、本會議ノ御答辯ニ於キマシテモ、漁村ノ經濟調査ヲ帝國水産會ヲ通ジテ御始メニナツタト云フコトヲ御答下サツタノデアリマスガ、若シ漁村ノ經濟ノ經濟調査ト同ジヤウナ氣持居ラレル漁村ノ經濟調査ト同ジヤウナ氣持デ、サウ云フ方法ノ下ニ行ハレマスルト、是ハ私ハ大ナル失敗ニ終ルト思フノデアリマス、ト申シマスノハ、農村ニ於テハ何百年來、何千年來同ジヤウナ型ノ經營ラシテ居ル、勿論ソコニ變化ハアリマスケレドモ、大體ニ於テ基本的ノ型ハ同ジデアル、併シ漁村ニ於キマシテハ、一ツノ經濟ノ型ト云フモノハ長ク續カナイ、漁法ガ頻繁ト變ッテ來ル、ドノ漁場ニ行ッテ見マシテモ、同ジ漁法ヲ何百年モシテ居ルト云フコトハアルモノデヤナイ、大抵三十年カ五十年デ變ッテ來ル、短イノハ十年デ變ッテ來ル、或ル一ツノ漁法ヲ用ヒテ數年間ハ其漁法デ行ケルガ、漁族ガ之ヲ回避スルト申シマスカ、或ハサウ云フ漁法ニ掛ッテ來ル漁族ガ缺乏シテ來ルト申シマスカ、漁法ニ大キナ變化ガアル、漁法ノ變化ガ經濟ノ根本的變化ヲ齎シテ來

ルカラ、單ナル平面的調査デハ眞髓ヲ掴ムコトハ出來ヌノデアリマシテ、漁村ノ經濟ノ調査ニ對シマシテハ、漁村獨得ノ漁村經濟ノ本質ニ即シタル所ノ經濟調査ヲオヤリニナラナクテハ、是ハ無駄ニ終ルノデアリマス、サウ云フ點デ私ハ帝水ニ委囑サレマシタ經濟調査ガ、如何ナル方法論ノ下ニ規定サレテ居ルカハ存ジマセスガ、農家ノ經濟調査ヲオヤリニナツタヤウナコトデオヤリニナツタラ、全然是ハ失敗デアラウト思フ、ソレニ對シテハ考ヘテヤッテ居ラレマスルカドウカ、一寸御伺シテ置キタイノデアリマス

○三宅政府委員 ソレヲ加味シテヤル積リデ居リマス

○西川委員 漁業用ノ礦油ノ問題ガ、最近ノ暴騰ニ依ッテ、水産界ノ前途ニ一大危機ヲ來シテ居ルト云フコトハ、私ガ改メテ申上ゲル迄モナイ、是ハ此前ノ豫算分科會ニ於キマシテ小見山議員カラノ質問ガアツテ、當局ガ答辯サレテ居ルノデアリマスガ、時局以來農村ニ對シマシテハ肥料對策ト云フモノニ付テ殆ド農林省ハ全力ヲ注ガレタル感ガアル、十分トハ申サレマセスケレドモ相當ニ肥料對策ニ對スル施設ラシテ居ラレルノデアリマス、併シ本會議デモ申上ゲマシ

タヤウニ、農村ニ於ケル所ノ肥料ヨリ以上ニ、漁村ニ於テノ燃料ノ問題ハ重大デアリマス、燃料油ノ對策トシマシテハ三百万圓ノ對策豫算ハ出テ居リマスケレドモ、是ハ今マデノ免税ト云フ特典ヲ取上ゲタ代償デアル、不十分ナル代償デアル、積極的ニ時局ノ下ニ於ケル燃料ノ對策トシテハ何モ無イノデアリマス、是ハ今マデ與ヘテ居タ特典ヲ取去タ所ノ代償ノ三百万圓デアリマシテ、農林省ガ肥料政策ニ對シテ只今執ッテ居ルヤウナ時局ニ對應スル積極的對策ト云フモノハ、漁村ニ於テハ未ダ何等無イノデアリマス、是ハ水産當局ト致シマシテ何處マデモ三百万圓ノ外ニモウ一ツ燃料對策ト云フモノヲ積極的ニ講ジテヤル所ノ責任ガアルト思フ、ソレニ要スル所ノ豫算ノ獲得ヲサレル所ノ義務ガアル、水産當局ガソレヲシツカリシテオヤリニナリサヘスレバ、吾々死力ヲ盡シテ水産當局ヲ支持後援シマシテ、此問題ノ解決ヲ圖ルベク、私共モ有ユル方面ニ努力スルノデアリマス、然ルニドウモ水産當局ハ甚ダ腰ガ弱イノヂヤナイカ、此前ノ三百万圓デスラ、此三百万圓ヲ計上シテ之ヲ貰フト、他ノ方ニ斧鉞ヲ加ヘラレヤシナイカト云フ危懼ノ下ニ、何ダカ水産當局ハ此三百万圓ノ出シ方ガ、非

常ニ腰ノ弱イ出シ方デアッタト云フコトハ、私ハ大藏省方面カラモ——コンナ事ヲ言ッテ宜イカ惡イカ知リマセスガ、聞イタノデアリマス、ソナ弱腰デハ到底此水産問題ノ解決ガ出來ルモノヂヤナイノデアリマス、アノ三百万圓ハ今マデ與ヘテ居タ所ノ恩典ヲ取上ゲタ其代償デアル、此時局ノ、殊ニ燃料油ノ暴騰ニ依ッテ危機ニ瀕シテ居ル水産界ノ對策トシテハ、未ダ何モ無イノデアアル、是ガ無クテ進メラレル問題デナイト云フコトニ一ツ御著目ニナリ、十分ニシツカリト腰ヲ据エラレテ、次ノ年度ノ豫算ニハ是ガ對策ヲ現サレル必要ガアルト私ハ思フ、之ニ對スル當局ノ御決心ヲ一ツ承ッテ置キタイ

○三宅政府委員 御説ノ通りデゴザイマス、唯甚ダ消極的デ恐レ入ルノデアリマスガ、二三日前ニ發表サレマシタ石油ノ節約ノ切符制ノ問題デアリマス、是ニモ消極的デアリマスルガ相當努メマシテ、他ノ方ハ何割ノ節約ト云フコトニナッテ居リマスルガ、漁業用ノ石油ニ限リマシテ無駄排除ト云フ程度ニ、而モ其無駄排除ト云フモノハ水産ノ方面ガ先立チマシテ、不必要ニ速力ヲ出ス必要ガナイ、斯ウ云フ場合ニハ、適當ノ速力ヲ出セバ宜シイノダ、ソレニ依ッテ若干ノ節約ガ出來ル、或ハ帆ナシカモ若干使フヤ

ウニスレバ、「スロー」デ以テ油ノ節約ガ出來ルコトモアルノダト云フ風ニ、一面ニ於テ眞面目ニ其節約ヲ致シマシタ關係上、今回ノ切符制ニ於キマシテモモウソレデ十分デアッテ、ソレ以上ノ制限ハ受ケナイヤウニ聊サカ努力シテ參タ積リデ居リマス、併シ是ハ消極的ナ事デゴザイマシテ、御説ノ通り油價ガコンナニ高クナラウトハ思ヒモ依リナカッタコトデアリマシテ、唯アレハ免税ガ無クナッタダケ上ル位ノ程度ニシカ考ヘテ居ラナカタノガ、今日非常ニ、場所ニ依リマスレバ當時ノ倍、平均スレバ一割七分程度ニ上ッテ參タノデアリマス、是ハ何等カノ適當ナ對策ヲ講ジテ然ルベキモノト考ヘテ居リマス、折角適當ナル案ヲ來年度ハ考ヘナケレバナラヌト思ッテ居リマス

○西川委員 要スルニ水産ノ問題ニ關シマシテハ、從來兎モスレバ政治ノ上カラ閑却サレル傾向ガアッタノデアリマスガ、今ヤ此非常ナル窮境ニ際會シマシテ水産業者ハ、漁村民自身モ大イニ自覺ヲ致シマシテ、其自覺ノ現レハ又色々ノ方面ニ反映シツ、アルノデアリマシテ、今後ニ於キマシテハ從來トハ色々政治上ノ狀況モ違ッテ來ルト思フノデアリマスガ、水産當局トシマシテモ十分ニ其點ヲ御自覺アッテ、御努力アランコト

ヲ希望スルノデアリマス、以上ヲ以チマシテ私ノ水産事務當局ニ對スル質問ヲ終ルノデアリマス、此際是非大臣ノ御出席ヲ御願シタイノデアリマスガ、委員長、如何デアリマスカ

○青山委員長 今聞キニ行ッテ居リマス——長野君ハ如何デスカ

○長野委員 私ノ間ハントスル所ハ西川君カラ御問ニナリマシタカラ、重複スルノデ止メテ置キマス

○北委員 私モ大臣ニ質問シタイノデスガ、一寸豫定ガ付カスデスカラ、此處デ申上ゲテ、速記録ヲ見テ答辯ヲシテ貰フコトニシマシテ御許シテ願ヒマス

○青山委員長 北君

○北委員 「ステープル・ファイバー」ノ網ニ混用ノ問題ニ付キマシテハ、高木サンカラ先程御質問ガアッタサウデアリマスガ、私ハ農漁業者ノ衣服ノ問題、之ニ付キマシテ御尋シタイト思フノデアリマス、御承知ノヤウニ農漁業ノ作業ハ屋外作業デアリマス、雨ノ降ル日モヤラナケレバナラヌノデアリマス、殊ニ勤勉ナ人程、朝ハ露ノアル内ニ出テ働カナケレバナラヌ、或ハ夜遅ク夜露ニ濡レテ働カナケレバナラヌ有様デアリマス、漁業家ノ如キハ、年中船ト共ニ水ノ中デ働イ

テ居ラレルシ、又水田耕作ナドモ漁業家ト同ジヤウニ、水ノ中デ何時デモ働クノデアリマスガ、「ステープル・フアイバー」ヲ混用シタモノノ非常ニ弱イト云フコトハ、茲ニ詳細調査サレタモノガアルノデスガ、之ヲ一々讀ムコトノ煩ヲ避ケマシテ、之ヲ差上ゲマスカラ、適當ニ速記録ニ載セテ戴キタイト思ヒマス、要スルニ「ステープル・フアイバー」ヲ混用シタモノハ濕氣ニ非常ニ弱イ、水ノ中ニ入りマスト半分ノ力シカナイ、又水ニ弱イノデスカラ、洗濯ニ非常ニ弱イ、殊ニ「アルカリ」ニ弱イ、熱ニ弱イ、摩擦ニ弱イト云フヤウナ色々ノ缺陷ガ現レテ來テ居ルノデアリマス、然ルニ農家ニハコシナ物ヲ、ヤハリ普通リノ丸洗ヒラスル習慣ガアリマス、農家ノ使フ洗濯石鹼ト云フモノハ實ニ惡イモノヲ使ッテ居リマスノデ「アルカリ」ニ弱イト云フ特性ノ爲ニ、非常ニ着物が弱クナルト云フコトニナッテ來ルノデアリマス、ソコデドウシテモ農家、或ハ漁業家ノ作業衣ニ對シマシテハ、一ツ特例ヲ設ケテ貰ハナケレバナラナイト思フノデアリマスガ、商工大臣ハ此點ニ付テ是認サレタ、公式ノ場所デハナイト思ヒマスガ是認サレテ、何トカシタイト云フコトヲ漏サレタト云フコトデアリマスノデ、此際此

問題ハ一ツハッキリサシテ戴キマシテ、サウシテ農漁業家ノ着物が始終傷ンデ困ルト云フヤウナコトガナイヤウニ、經濟的ニ行ケルヤウニ、是ハ國家的ニ見テモ必要ナコトダト思フノデアリマスノデ、一ツ此問題ノ解決ヲシテ戴キタイト思フノデアリマス、不幸ニシテ商工省ノ關係ノ方ガ居ラレマセスカラ、以上申上ゲマシタコトヲ速記録ニ依ッテ、委員長カラ適當ニ御傳ヲ願ヒマス、サウシテ適當ノ時ニ御答辯ヲ得ルヤウニ御願致シマス

○青山委員長 宜シウゴザイマス

○高木委員 西川君カラ大臣ノ御出席ヲ求メテ居リマスガ、マダ御見エニナリマセスノデ、其間ニ一寸二三分間申上ゲタイト思ヒマスガ……

○青山委員長 宜シウゴザイマス

○高木委員 國民保健衛生ノ爲ニ魚食ノ必要ナコトハ、私本會デモ強調致シマシタシ、又只今西川君カラモ大分御話ガアッタノデアリマスガ奈何セン鐵道運賃ガ非常ニ高イノデアリマス、大體私ノ調べタ所ニ依リマスト、米穀、野菜、乾瓢ト云フヤウナモノニ比ベマスト云フト、四割乃至八割水産物ノ方ガ高イノデアリマス、現在ニ於テハ已ムヲ得ズ如何ニ大漁ノ所ガアッテモ、運賃

ガ高イ爲ニ、安イ魚ヲ山村農村マデ送ルコトガ出來ナイデ、空シク肥料ニシテ居ルト云フヤウナ所モアル、殊ニ此漁業ノ特殊性トシテ、潮流ノ關係デ獲レル所ニハ澤山獲レルガ獲レナイ所ハサッパリ獲レナイト云フヤウナコトモアルノデアリマスガ、是ガ鐵道運賃ガ高イ爲ニ全國民ニ之ヲ適當ニ配給スルコトガ出來ナイノデアリマス、斯ウ云フ請願モアリマシタガ、ドウカモウ少シ魚類、水産物等ノ運賃ヲ低下シテ、サウシテ山村ニモ、農村ニモ等シク榮養食糧ノ配分ガ出來ルヤウニシテ戴キタイト思ヒマス、現在ニ於テハ良イ魚ハ多ク都市ニ配給セラレルノミデ、最モ需要ノアル山村農村ニ却テ安イ魚ノ配給ガ十分デナイコトヲ私ハ常ニ遺憾トシテ居ルノデアリマスカラ、此點ニ付テ今鐵道省關係ノ人ハオ居デニナッテ居リマセスケレドモ、水産局ニ於テドウカ十分御盡力ヲ賜リタイト云フコトヲ希望シテ置キマス

タイノデアリマス、産業組合ハ我國ノ農村其他ノ方面ニ於キマシテハ、極メテ重大ナル國策的ノ使命ヲ持チマシテ、從來其事業ヲ行ヒ來ッタモノデアルト吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ此組合ノ事業ニ當リマス者ハ一ツノ熱情ヲ持ッテ、極メテ菲薄ナル給與ニ甘シジ、自分等ハ之ニ依ッテ日本ノ農村ヲ護ルノデアアル、斯ウ云フ一ツノ信念ト熱情ヲ持ッテ努力シテ來テ居ルノデアリマス、私共ハ地方ニ居リマシテ、地方ノ産業組合ニ從事シテ居リマス青年達ガ、如何ニ純真ナル熱情ト、燃エルガ如キ氣魄ノ下ニ此仕事ニ當ッテ來テ居ルカト云フコトヲ見マシテ、非常ニ感激ニ打タレタノデアリマスガ、ソレ等ノ人々ニ對シテ、最近ニ於ケル一ツノ傾向ハ一種ノ打撃ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、即チ最近反產運動ガ非常ニ勃興シマシタ爲ニ、政府當局ガトモスレバ此反產運動ニ遠慮サレル爲カ、産業組合ニ對シテ何ダカ冷ヤカナ心持ヲ以テ臨マレツ、アルヤウナ傾向ガ見エルノデアリマス、是ハ地方ニ依ッテ産業組合ノ仕事ナドニ從事シテ居リマス者ニハ、強ク是ガ響イテ來テ居ルノデアリマス、隨テ是ハ産業組合ノ陣營ニ於ケル所ノ者達ノ士氣ノ上ニモ非常ニ大キナ影響ヲ與ヘツ、アルコト

ヲ私共憂フルノデアリマスガ、此際政府ハ果シテサウ云フ御考デアルノデアリマスカ、農林大臣ガ産業組合ニ對シテハ非常ナ理解ヲ持ツテ居ラレルト云フコトハ、是ハ何人モ能ク承知シテ居ルノデアリマスガ、政府全體ト致シマシテノ空氣ニ付テ、ドウ云フ狀況ニアルノデアルカ、私ハ此點ニ付テ大臣ノ御所見ヲ伺ツテ置キタイノデアリマス

○有馬國務大臣 西川君ノ御問ニ御答ヲ致シマス、産業組合ニ從事致シテ居リマスル者ガ、最近ニ反産運動ガ起リマシテ以來ノ政府ノ指導其他ニ於テ、多少以前ト異ナルモノガアルヤウニ見エルノデ、其結果産業組合ニ從事シテ居ル所ノ殊ニ若イ者ノ意氣ヲ多少鈍ラシテ居ルヤウナ感じガスルガト云フコトデアリマスガ、是ハ御承知ノ通りニ、農林省トシマシテ、農村ハ勿論、其以外ノ所ニ於キマシテモ、産業組合ガ有效ナ働キヲ致スモノデアリ、隨テソレヲ十分ニ發達セシメテ活躍セシメナケレバナラナイト云フ考ハ、以前ト少シモ違ッテハ居ナイノデアリマス、唯産業組合側ニモ、非常ナ多數ノモノガ出來、又事業ノ進展ニ伴ヒマシテ、動モスレバ、特ニ軌道ヲ踏外スヤウナモノモ從來多少アツタ思フノデアリマ

ス、ソレ等ガ反産運動ヲ惹起シマシターツノ原因デモアラウト思フノデアリマシテ、ソレ等ニ對シテ敢テ反産運動ガアルカラ、ソレニ遠慮ヲシタトカ、ソレニ氣兼ねラシタトカ云フ意味デハナイノデアリマスガ、多數ノ産業組合ノ中ニ、多少取締ヲ嚴ニシ、之ヲ監督シテ行カナケレバナラナイヤウナモノモ多々アルト思ハレマスノデ、ソレ等ニ對シテ幾分力是正ヲスルト云フヤウナ態度ニ出タコトガ少クナイト思フノデアリマス、詰リ監督ヲ嚴重ニシ、産業組合ノ行クベキ道ヲ誤ラナイヤウニシタイト云フヤウナ考カラ、政府トシテサウ云フヤウナ態度ニ出タト云フコトガ、反産運動ノ爲ニ非常ニ遠慮シテ、産業組合ニ對スル取締ガ非常ニ嚴重ニナツタトカ、或ハ冷ヤカデアルト云フヤウナ感じヲ與ヘテ居ルノデハナイカト云フ風ニ私共思フノデアリマス、只今御述ニナリマシタヤウニ、産業組合ト云フモノハ、特ニ農村ニ取ツテハ大事ナノデアリマスカラ、先般モ申上ゲマシタヤウニ、不正不法ノ行爲ノナイヤウニ、産業組合ノ正シイ發達ヲ致シマスル爲ニハ、出來ルダケノ力ヲ之ニ添ヘテ行カナケレバナラヌト思ヒマスガ、敢テ反産運動ニ對シテ怖ラ爲ストカドウトカ云フ意味デハアリマセヌガ、履ミ行クベキ

道ヲ誤ラシメナイト云フコトノ爲ニ、多少ソコニ監督ヲ嚴重ニシ、今度ノ監査聯合會ノヤウナモノモ作リマシテ監督ヲ嚴ニシテ行クト云フコトニハナルト思ヒマスガ、ソレハ決シテ發展ヲ鈍ラセルトカ、遠慮スルトカ、サウ云フヤウナ意味デハナイノデアリマシテ、今後ト雖モサウ云フ考ヘ方デ農林省トシテハ當ツテ行キタイト考ヘテ居リマス

○西川委員 反産運動ノ口實トナリマスノハ、産業組合ガ中小商工業者ヲ壓迫スル、又私ハ或ル政府筋ノ大官カラ其意見ヲ聽キマシタ時ニモ、産業組合モ宜イケレドモ、中小商工業ノ問題ヲ考ヘル時ニハ、産業組合ニ對シテモ相當考ヘナクテハナラヌト云フヤウナ意見モ嘗テ伺ツタコトガアリマスガ、併シ産業組合ト云フ言葉ヲ言表シマス、中小商工業ト對立スルヤウナ感じガスルノデアリマスケレドモ、本質的ニ協同組合ト云フ風ニ見テ行キマス、今日中小商工業ト雖モ、其更生ヲ圖リ其安定ヲ圖ルノニハ、協同組合ノ力ニ依ルヨリ外ハナイト云フコトハ、政府當局ガ、或ハ商業組合、工業組合等ヲ操作致シ、又商工組合中央金庫等ヲ操作致シマシテ、協同組合ニ依ッテ是等ヲ更生セシメヨウトシテ居リマスル政府ノ政策

ノ事實ニ照シテモ、明カナ所デアリマス、サウ云フ意味ニ於キマシテハ、單ナル農村ノミデナク、中小商工業ノ陣營ニ於キマシテモ、協同組合ハ其經濟ヲ更生セシメ、其地位ヲ安定セシメ、生活ヲ守ツテ行ク所ノ一ツノ防壁ニ外ナラヌ、而モ是ガ兎角對立スルガ如クニ考ヘラレルノハ、同ジ協同組合ノ陣營ノ下ニ集リ來ル農村デアリ、中小商工業者デアアルニモ拘ラズ、強イテ機關ヲ別ニシテ對立セシメルト云フコトガ私ハ惡イノダト思フ、現在商工組合中央金庫ハ出來マシタケレドモ、實際ニ於テ商業組合、工業組合ヲ通ジテ中小商工業者ニ對スル金融ハ圓滑ニハ行ツテ居ラスノデアリマス、現在ノ商工組合中央金庫ノ實力ヲ以テシテハ、多年培養シ蓄積シ來ツタ産業組合中央金庫ノ力ニ及ブベクモナイ、別ノ機關ヲ設ケタカラ、徒ニ資金ノ需要ハ多イケレドモ、ソレニ供給スルコトガ出來ナイ、組合ヲ作ツテモ資金ノ供給ハ出來テ居ラナイ、私ハ斯ウ云フ對立觀念ヲ根本的ニ解消シテ、寧ロ中央金庫一本ニシテ、農村ニ對シマシテモ中小商工業ニ對シマシテモ、家族的ナ産業ニ對スル金融ハ、申金一本ニシテ、今回中央金庫カラ貸出スコトニシタ點ハ宜イト思ヒマス、其點ハ高木サンノ意見トハ對立スル

ヤウデアリマスケレドモ、別ニ一本ニ立テ
ルト云フコトガ私ハ惡イト思フ、是ガ寧ロ
對立觀念ヲ激成スルト思フノデアリマス、
今日本當ニ此農村ノ中デ産業組合ト中小商
工業者ガ相剋ラシ兩方ガ立行カナイヤウナ
情勢ニアル農村ニ於キマシテハ、産業組合
ト云フモノガ商業組合モ工業組合モ、自ラ
ノ小組合トシテ、以テ丁度農事實行組合ガ
産業組合ノ小組合デアリマサヤウニ小組合
トシテ、以テ一村ノ協同組合ハ一ツニシテ、
其協同組合ノ小組合トシテ商業組合、工業
組合、漁業組合、農事實行組合ト云フヤウ
ナモノガ躍イテ行クト云フ所ニ、本當ノ兩
方ノ協調ガ出來テ來テ、又其發展ヲ圖リ得
ルモノト私ハ多年左様ニ信ジテ居ルノデア
リマス、之ヲ別々ニ振分ケマスカラ對立觀
念ガ起リ、兩方共ニイケナクナル、元來信
用組合ナルモノハ農村ニ於テ發達シタカ、
中小商工業者ノ間ニ於テ發達シタカト申シ
マス、是ハ地方ニ依ッテ違ヒマセウケレ
ドモ、産業組合ノ一番發祥地デアリマス所
ノ山口縣アタリニ於テハ、中小商工業者ノ
金融機關トシテ初メ發達シタノデアリマ
ス、現在ニ於テ最モ勢力ヲ持ッテ居ルモノハ
市街地信用組合デアッテ、中小商工業者ノ中
デハ一番實力ヲ持ッテ居ル、其沿革ニ照シテ

見マシテモ、其實質ニ照シテ見マシテモ、
中小商工業者ト農村トガ對立シテ行クト云
フコトニハナラヌノデアリマスケレドモ、
是ハ行政機構ノ取扱ノ上デ寧ロ對立スベカ
ラザルモノヲ對立サシテ居ルト云フヤウナ嫌
ガ多クアルノデアリマス、勿論是ハ農林大
臣ノ御方針一ツデ動クコトデハナイノデア
リマスケレドモ、大臣ハサウ云フヤウナ御
考ノ下ニ、本當ニ農村ナリ地方ニ於ケル中
小商工業者ト産業組合トノ對立ガ解消シ、
一ツノ協同組合ノ中ニソレノ業態ヲ吸
收シテ行クト云フヤウナ方針ノ下ニ、此間
題ノ解決ヲ御圖リニナルト云フヤウナ御考
ハナイデアリマセウカ、私ハ多分御同感デ
アルト思フノデアリマスガ、甚ダ失禮デア
リマスケレドモ、御伺シテ置キタイノデア
リマス

○有馬國務大臣 只今西川君ノ御述ニナリ
マシタコトニ付テハ、仰セノ如ク全然御同
感デアリマス、唯問題ハ所謂行政機構ノ改
革問題ニ伴フ問題デアリマシテ、行政機構
ノ改革ト云フコトガ本當ニ出來得ルナラバ、
今ノ問題モ出來ルト思ヒマスガ、ドウモ行
政機構ノ改革ト云フヤウナコトハ、徒ニ聲
ガ大キクテ實ガ伴ハナイノハ今迄ノ例ダト
思ヒマス、果シテ今後ニ於ケル行政機構ノ
改革ト云フヤウナ場合ニ、今御述ニナリマ
シタヤウナコト迄實際ニ出來ルナラバ非常
ナ仕合セダト思ヒマスガ、私共モ全然御意
見ニハ同感デアリマスガ、私共ノ望ンデ居
ルヤウナ風ニナルト云フコトハ餘程難カシ
イノデハナイカト思ヒマス、併シ出來ルダ
ケ只今ノ對立ノヤウナ形カラ生ズル色々ナ
弊害ト云フモノヲ除カナケレバナリマセヌ
カラ、出來ルダケ最少限度ニ其弊害ノ少イ
ヤウニ努メテ行クト云フ程度ニシカ今申上
ガラレナイト思ヒマス

○西川委員 是デ最後デアリマスカラモウ
一ツ御伺スルコトヲ許シテ戴キタイノデア
リマス、此産業組合ノ本質ナリ、其指導精神
ノ根本ニ於キマシテ、先般國民健康保險法
ノ審議ニ當リマシテ、厚生大臣カラ、産業
組合ハ物ヲ扱フモノデアッテ、人ヲ取扱フモ
ノデハナイ、斯ウ云フ風ナ御言明ガアリマ
シタコトハ、私將來ノ産業組合ノ指導精神
ノ上ニ及ボス影響少カラザルモノガアルト
思フノデアリマス、外ノ大臣ナラマダ忍ビ
宜イノデアリマスケレドモ、恐ラク今後厚
生省ハ農村ニ多大ノ接觸ヲ有ツト共ニ、農
村ニ於ケル協同組合トモ多大ノ接觸ヲ有ッ
テ行クデアラウト思フ、協同組合ト云フモ
ノヲ基本ニシナカッタラバ決シテ私ハ厚
生省ノ期待スル諸事業ハ圓滑ナル進展、圓
滿ナル發展ヲ圖ルコトハ出來ナイト思ヒマ
ス、併シ其厚生當局ガ産業組合ハ物ヲ扱フ
機關デアルト云フ風ニ頭カラ前提シテ掛ラ
レルト云フコトハ、私ハ將來相當ナ問題デ
アルト思ヒマスノデ、此際自治監査法案ノ
審議ニ當リマシテ、將來産業組合ノ指導ト
云フモノヲドウ云フ方面ニ引張ッテ行カレ
ル積リデアルカ、産業組合ニ對シテドウ云
フ觀念ヲ有ッテ居レルカト云フコトニ付
テ當局ノ御見解ヲ御伺シ、且又前提トシマ
シテ私ノ考ヲ一寸申上ゲテ置キタイ
産業組合ハ單ニ物ヲ扱フ人ヲ扱フト云フ
コトノミナラズ、是ハ日本ノ國民道德ノ上
ニ、國民精神ノ上ニ、國體觀念ノ上ニ産業組
合ハ重大ナル關係ヲ有ッテ居ルト私ハ思フ
ノデアリマス、日本ノ國民道德、國民精神、
國體觀念ト云フモノガ最モ赤裸々ニ發揚サ
レマスノハ、敵前ニアル軍人ガ戰死ヲスル
場合デアル、其場合ニ天皇陛下ノ萬歲ヲ奉
唱シテ死スルノデアリマス、併シ私ハ先般
自分ノ身寄りノ者カラ、自分ノ傍ニ寢テ
居ッタ戰傷者ガ戰死シタト云フ其戰死ノ情
景ヲ報告サレマシタ時ニ、天皇陛下萬歲ヲ
奉唱致シマスノミデナク、更ニ私共ガ餘
程考ヘナクチャナラヌコトヲ必ズ唱ヘル、

ソレハオ母サント言フサウデス、天皇陛下
萬歳ヲ唱ヘタ後ニオ母サント言フサウデア
リマス、是ハ戰死者ヲ取扱ヒマシタ軍醫
ガ、十人ノ戰死者ノ中ノ九人マデハ必ズオ
母サント言フト云フコトヲ申シテ居リマス、
先般大谷智子裏方ガ戰地ニ慰問ニ行カレマ
シテ、御歸リニナツタ時ノ言葉ニモ、日本ノ
軍人ガ強イノハ偉大ナル母ノ力デアルト云
フコトヲ述ベテ居ラレマシタ、天皇陛下
ノ萬歳ヲ奉唱シ、且ツオ母サント呼ブ戰死
者ノ心情ヲ私ハ靜ニ想ウタノデアリマス、
其 天皇陛下萬歳ヲ奉唱シマス心理トオ母
サント呼ビマス此心ガ結付イテ此日本精神
ハ出來テ居ル、此國體ハ成立ツテ居ル、此國
民道德ハ成立ツテ居ル、ソレハ如何ナルコト
ヲ意味スルカト申シマス、表ニ國ヲ持チ
裏ニ家ヲ持ツ、國家一體、此氣持ノ上ニ人
間ガ生キテ居ル、斯ウ云フ事實ノ上ニ私ハ
立ツテ居ルト思フ、詰リオ互ガ國ヲ發展セシ
メマスト共ニ、自分ノ家ト云フモノヲ――
形ノ上ノ家デハアリマセヌ、精神上ノ家ト
云フモノ、本質的ニ見テノ家ト云フモノヲ
シツカリ日本國民ガ把握シテ居ナカタナラ
バ、私ハ此國民道德ノ更張ヲ圖リ、國民精
神ノ更張ヲ圖リ、國體ノ基礎ヲ益、培ウテ行
クト云フコトハ出來ナイト思フノデアリマ

ス、家ヲ守ッテ行カナケレバナラス、家ヲ守
ルト云フコトハ第一ニ祖先崇拜ノ觀念ヲ更
張スルコトデアアル、自ラノ祖先ヲ尊ブコト
デアリ、家産ヲ重ンズルコトデアアル、家産
ヲ守ッテ行クコトデアアル、家業ヲ守ッテ行ク
コトデアアル、祖先ヲ崇拜シ、家産ヲ守リ家
業ヲ守ル、此三ツノモノガ一ニナッテ
日本ノ家ガ存立シ、此家ガ國家ノ基礎ヲ
成シテ居ルト私ハ考ヘル、而モ資本主義
經濟ハ、特ニ最近ニ於ケル高度ノ資本主
義經濟ハ此家ヲ没落セシメントシテ居ル、
家業ガ破レ、家産ガ破レ、祖先崇拜ガ破壊
シ盡サレタ後ニ、果シテ日本ノ國民道德ガ
如何ナル形ニ於テ殘ルデセウ、國民精神ガ
如何ナル形ニ於テアリ得ルデアリマセウ、
私ハ此事ヲ考ヘマス時ニ、家業ヲ守リ家産
ヲ守リ祖先ヲ崇拜スル、家ヲ守ルト云フコ
トガ日本ノ國家トシテ一番力ヲ注ガナケレ
バナラス問題デアルト思フ、而モ農村ヲ護
リ中小商工業者ヲ護ルト云フコトハ家ヲ守
ルト云フコトデアアル、此家ヲ守ルト云フモ
ノハ産業組合シカナイト思フ、國家ノ執ッテ
居リマス政策ハ色々アリマスガ、是ハ家ヲ
守ルトヨリ外ニナイ、産業組合ノ政策ハ
家ヲ守リ國民精神ヲ守ルノデアアル、單ナル
物ヲ取扱フモノデハナク、單ナル人ヲ取扱

フモノデモナイ、實ニ國體ノ基礎ニ關係致
シマス所ノ家ヲ守ッテ行ク所ノモノデアアル、
産業組合ハサウ云フ崇高ナル使命ヲ持ッテ
居ルモノデアルト私ハ愚考スルノデアリマ
ス、今後ノ産業組合ノ御指導ニ於キマシテ、
厚生大臣ガ言ハレマシタヤウニ、單ニ産業
組合ハ物ヲ扱フモノトシテ取片付ケテ行カ
レルモノデアリマセカ、進ンデ人ノ問題ヲ
解決シ、否、モット進ンデ國民精神ノ問題
ニマデ觸レテ産業組合ハヤッテ行カナクチ
ヤナラスモノト御考ニナルデアリマセウカ、
是ハ甚ダ失禮ナ問デアリマスケレドモ、此
事ヲ最後ニ伺ヒマシテ私ハ此質問ヲ終リタ
イト思ヒマス
○有馬國務大臣 只今ノ西川君ノ御述ベニ
ナリマシタコトハ私モ大體御同感デアリマ
ス、前議會デ國民健康保險法案ガ貴族院ノ
委員會ニ付サレマシタ時ニ、只今厚生大臣
ノ言ハレタト仰シヤッタト同ジヤウナ意味ノ
コトヲ一貴族院議員ニ依ッテ述ベラレタコト
ガアルノデアリマス、厚生大臣ハ以前農林
省ニ居ラレマシテ、産業組合ノ事務ニモ關
係ヲサレテ居ルノデアリマス、恐ラク厚生
大臣自身ノ御考デハナカラウト私ハ推察ス
ルノデアリマス、現在ノ立場ト申シマスカ、
或ハ自己ノ個人ノ意見ヲ述ベラレナイト云

フ關係カラ恐ラクサウ云フコトヲ言ハレタ
ノデハナカラウカト私ハ思フノデアリマス、
私ハ以前カラ産業組合ト云フ團體ニナゼ産
業ト云フ字ヲ付ケタカト云フコトヲ多少遺
憾ニ思ッテ居ッタノデアリマス、最初ニ此字
ヲ使ッテ居ナケレバモット誤解サレタリスル
コトナク、今御述ベニナリマシタヤウナコ
トモ行ッテ居ッタノデハナカラウカト思ッテ
居ルノデアリマス、併シ是ハ長イ歴史ヲ有ッ
テ居リマシテ、サウ簡單ニ之ヲ改メルト云
フ譯ニモ參ラヌノデアリマス、只今御述ベ
ニナリマシタヤウニ、是ハ單ニ經濟上、産
業上ノ利益サヘ圖レバ宜イト云フ、サウ云
フコトバカリ目的トシテ居ル團體デハナイ、
ソレダケガ目的デハナイト云フコトハ私共
モ御同感デアリマス、農村ニ於キマシテハ、
農村全體、又農家ト云フ家、都會ニ於キマ
シテモ同様、サウシタ所謂郷土生活ノ基礎
ヲ確立スル、御互ノ幸福ヲ圖ッテ行クト云フ
組合ノ精神ハ其點ニアルト思ヒマシテ、決
シテ物ヲ對象トスルト云フコトダケガ目的
デナイト云フコトハ、私共ハッキリ認識シテ
居ルノデアリマス
○喜多委員 是デ質疑ヲ打切ッテ戴キタイ
ト思ヒマス
○青山委員長 御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○青山委員長 サウスレバ質疑ハ此程度デ
打切りマシテ、本日ハ是デ散會致シマス、
明日ハ午後二時半ヨリ開會致シマス

午後四時散會

〔北委員演說参照〕

「ス・フ」竝綿絲布ノ性能調査

一、含水分相異時ニ於ケルス・フ綿絲ノ
強伸力比較

含水率	綿	絲	ス・フ
強力	131.1	149.9	191.7
伸度	131.1	149.9	191.7
強力	131.1	149.9	191.7
伸度	131.1	149.9	191.7

自然狀態

121.6% 174.7 50.3 177.8 100.3

50% 182.8 50.5 133.7 100.5

濕潤 110.6 73.3 105.3 144.4

右試驗綿絲ハ富士四〇番手單絲、ス・フ四

〇番手單絲ニシテ含有セシムベキ水分率

ヲ(〇%—121%—50%—濕潤)トシ其

ノ間ノ溫度七六度、而シテ試驗二十回平

均ノ結果ノモノデアル

以上ノ如ク自然狀態ニアツテハス・フノ

強力ハ綿絲ヨリ大デアル次ニ含水率ノ變

化ニヨル強力ノ變化ヲ見ルニ綿絲ハ却ツ

テ強力ヲ増大シス・フニ於テハソノ減少

度ハ頗ル急激デ濕潤狀態ニ至ル減少率ハ

ス・フハ五〇%以上減少スル缺點ヲ有ス

ルニ反シ綿絲ハ却ツテ二二%餘ノ増加ト

ナル譯デ此處ニ於テス・フガ洗濯ニ對シ

テ非常ニ弱イ所以デアル

二、彈性

綿ニ比シ彈性ガ少デアル

三、耐水性

ス・フハ耐水性ニ乏シイ從ツテ濕潤狀

態ニ於テ強力ヲ著シク減少スル結果ト

ナル

四、混紡絲(棉七割、ス・フ三割)ノ強力比

較

混紡絲二〇S 乾燥強力 濕潤強力 六三・七 六九

綿 二〇S 七・一 六五

五、三綾生地(混紡絲、純綿物)トノ強力

比較

純綿布 經 緯 最大 最小 平均

ス・フ混紡絲 經 緯 三三・〇 二四・〇 三〇・一

(五對五) 緯 三三・〇 二四・〇 三〇・一

洗濯ニツイテ

洗濯ニ於テス・フガ綿製品ヨリ弱イ理

由ハ

(イ) 濕潤ニ弱 此ノ點ニ就テハ別表

ノ如ク五〇%以上強力ガ減少スル

(ロ) アルカリニ弱 ス・フ、綿ノアル

カリ溶解量(一〇%、苛性曹達ニ攝

氏二五度三〇分間)

試料

ビスコース 1 二一・五

同 2 二一・四

同 3 三五・二

同 4 膠化分散

綿 〇・八

(ハ) 熱ニ弱

人纖アルカリ煮沸試驗

試料

ビスコース 1 沸減退(%) 七・八

同 2 一一・四

綿 〇・八

以上ノ如ク殊ニ前表(ロ)ニヨツテ明

カナ如ク硬化油ヲ多量ニ含ンデ濯

ギニ落ノ惡イアルカリノ強イ下級石

鹼ヲ使用スル農村ニ於テハ特ニ純綿

物ノ製品ガ必要トナル譯デアル

(ニ) 摩擦ニ弱 摩擦ニ對シテ弱イ爲

メ農村ノ如ク洗濯知識ニ乏シイノ

デ總テ丸洗トスル結果ハ非常ニ弱

クナルノデアル

猶洗濯試驗ニ於テ特ニ注意ヲ引クノハ全
ス・フ織物ガ混紡織物ヨリ強イコトデア
ル從ツテ混紡織物ハ前項ノス・フト純綿
トノ比較表ヨリ猶弱クナルト云フコトデ
アル
以上ニ依ツテ大體ス・フガ如何ニ不利デ
アルカハ分ルコトと思フ

昭和十三年三月三日印刷

昭和十三年三月四日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局